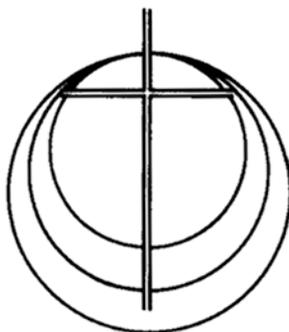

LIFE LIGHT LOVE

2021年度 宗教活動報告書

Christian Activities of TOHOKU GAKUIN

第3号



信仰と希望と愛

この三つはいつまでも残る。

(1 コリント 13:13)

学 校 法 人 東 北 学 院
東 北 学 院 大 学
東 北 学 院 中 学 校 ・ 高 等 学 校
東 北 学 院 榴 ヶ 岡 高 等 学 校
東 北 学 院 幼 稚 園

発行日 2022年11月11日

東北学院宗教センター

コロナ禍の中の LIFE LIGHT LOVE

東北学院院長・学長（宗教センター所長）

大西 晴樹



宗教センターの3年は丁度、新型コロナウイルス感染症の蔓延の時期と重なる。この間、世界や日本において、感染症によって多くの人びとの生命や生活が奪われ、困難な時期が続いている。また東北学院においても、授業や講義において遠隔授業が導入し、課外活動を制限しながら、感染症の拡大を防いできた。当然、本学の建学の精神であるキリスト教教育においても、拡大防止の措置が取られ、各設置校においてこれまでの対面礼拝が動画配信や放送礼拝に切り替わり、たとえ対面礼拝を実施できたとしても、回数を減らし、参加人数を制限して行われているのが現状である。

宗教センターは、コロナ禍にあっても、各設置校の宗教活動といういわば点を結ぶべく活動してきた。各設置校の宗教活動を紹介した広報誌「いのち・ひかり・あい」の刊行、各設置校における教職員祈祷会の開催、設置各校で同時刻に開催されたクリスマス・イルミネーション点灯式など、徐々にその役割を広げている。

さて、宗教センターの役割は、単に、点と点を結ぶいわば線の役割を果たすに留まるものではない。キリスト教学校を構成する三要素である礼拝、授業、課外活動を深化・発展させ、線から面へと広げていくことを目標としていかなければならない。そのために、われわれが立ち帰らなければならないのは、東北学院の教育の基本を言語化した LIFE LIGHT LOVE というスクールモットーである。このスクールモットーがコロナ禍の中、いかなる意味をもち、いかなる可能性をもっているのかを確認し、共有することが、大切である。

LIFE：生命の尊重、個人の尊厳については、コロナ禍で多くの人びとの生命や生活が奪われ、またロシアのウクライナへの軍事侵攻によって、その大切さを増している。神が創造した生命の尊重や、イエス・キリストの十字架上の死によって与えられた個人の尊厳をどのように伝えていくか。

LIGHT：コロナ禍により対面授業や課外活動が制限されている中でも、オンラインを通じた知識の伝達がなされ、感染症に注意を払いながらも、課外活動が遂行されている。困難を忍耐に変え、忍耐を練達に変え、人びとに希望の光を与えるような教育研究をどのように遂行していくか。

LOVE：対面のボランティア活動や人的交流が制限される中、互いに愛し合うためにはどうしたらいいのか。弱者や犠牲者のことを思い、祈り、支えあうための関係構築の大切さをどのように伝え、実践していくのか。

コロナ禍においても、スクールモットーを通じた建学の精神の確認と各設置校における建学の精神の共有化。これこそが、ウィズコロナ、ポストコロナの時代に向けた東北学院の未来を切り開くのである。

2021年度

法人事務局 宗教活動報告

2021年度 法人事務局 宗教活動報告

1. 創立135周年記念式典（縮小開催）

(1) 記念感謝祈祷会

日 時 2021年5月15日（土）8時30分
場 所 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
司 式 野村信宗教部長
参加者 25名（院内関係者のみ）

(2) 創立記念式

日 時 2021年5月15日（土）9時30分
場 所 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
司 式 齋藤信二法人事務局長
参加者 50名（院内関係者のみ）

(3) 校祖墓前礼拝

日 時 2021年5月15日（土）10時30分
場 所 北山キリスト教墓地
参加者 7名（理事長、院長、法人事務局長、大学宗教主任、庶務部長、事務局2名）

2. 第72回公開東北学院クリスマス

日 時 2021年12月16日（木）～25日（土）
場 所 オンライン配信にて実施
司 式 野村信宗教部長
説教者 佐藤由子牧師（日本基督教団 仙台南伝道所）
説教題 『光のあるうちに』

3. 東北学院職員クリスマス

(1) 礼 拝

日 時 2021年12月24日（金）10時00分
場 所 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂（ライブ配信併用）
司 式 野村信宗教部長
説教者 野村信宗教部長
説教題 『イエス、聖霊による誕生』
参加者 74名（会場出席者）

(2) 祝 会（新型コロナウイルス感染症により中止）

4. 学校法人東北学院宗教協議会

(1) 第75回

日 時 2021年10月4日(月) 16時00分～
場 所 土樋キャンパス8号館第1・第2会議室
参加者 26名

(2) 第76回

日 時 2022年3月7日(月) 15時00分～
場 所 土樋キャンパス8号館第3・第4会議室

◎キリスト教学校教育同盟関係

1. 東北・北海道地区協議会総会

日 時 2021年5月21日(金) 15時00分～16時03分
場 所 Zoomによるオンライン開催
出席者 大西晴樹院長(代表理事)、野村信宗教部長、阿部恒幸中学校・高等学校長、
河本和文榴ヶ岡高等学校長、西間木順榴ヶ岡高等学校宗教主任、小出佳祐
(事務局)

2. キリスト教学校教育同盟第109回定時総会

日 時 2021年6月4日(金) 10時00分～5日(土) 12時30分
場 所 Zoomによるオンライン開催
出席者 大西晴樹院長(代表理事)、野村信宗教部長

3. 第65回事務職員夏期学校

日 時 2021年7月17日(土) 10時00分～15時00分
場 所 Zoomによるオンライン開催
参加者 沼田知樹、河内裕樹、只野竜資、松田雄太、佐藤李香、佐藤篤、五十嵐理、
山口弘太、瀬尾怜花、高橋咲穂、竹下直輝、熊谷奈南、横山一恵、松田千
津子(実行委員)
※新採用職員研修として位置づけ

4. 第7回全国事務局長・事務長会議

日 時 2021年8月24日(火) 13時00分～18時00分
場 所 Zoomによるオンライン開催
出席者 齋藤信二法人事務局長

5. 第11回中堅事務職員リトリート

日 時 2021年8月26日（木）9時30分～15時50分

場 所 Zoomによるオンライン開催

参加者 庄子佑介、廣瀬芳美、森谷徹（実行委員）

6. 2021年度 東北・北海道地区教育研究集会大学部会

日 時 2021年8月26日（木）13時00分～15時45分

場 所 Zoomによるオンライン開催

当番校 弘前学院大学

参加者 大西晴樹院長・学長、紺野祐文学部長、佐藤康仁経済学部長、根市一志経営学部長、富田真法学部長、野村信宗教部長（教研全国委員）、川島堅二総合人文学科長、木村純二大学宗教主任、原田浩司大学宗教主任、藤野雄大大学宗教主任、鐸木道剛理事長特別補佐、小出佳祐（事務局）

7. 第7回東北・北海道地区教育研究集会新任教師研修会

日 時 2021年9月6日（月）8時40分～12時00分

場 所 Zoomによるオンライン開催

当番校 東奥義塾高等学校

参加者 水戸優太郎（榴ヶ岡高校）、小出佳祐（事務局）

8. 第7回本部・地区事務局会議

日 時 2021年9月25日（土）14時00分～17時00分

場 所 Zoomによるオンライン開催

参加者 小出佳祐（事務局）

9. 東北・北海道地区教育研究集会中高部会

日 時 2021年10月15日（金）13時00分～16時00分

場 所 Zoomによるオンライン開催

当番校 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校

参加者 大西晴樹院長、佐藤周榴ヶ岡高等学校副校長、松井浩樹中学校・高等学校宗教主任、西間木順榴ヶ岡高校宗教主任（教研全国委員）、高アンナ中学校・高等学校教諭、工藤彩絵子（事務局）

10. 第63回学校代表者協議会

日 時 2021年11月6日(土) 10時00分～15時20分
場 所 Zoom によるオンライン開催
参加者 大西晴樹院長・学長、河本和文榴ヶ岡高等学校長

11. 教職員志願者ガイダンス

日 時 事前収録のインタビュー動画を申込者に限定して公開
収録日：2022年2月16日(水)
場 所 収録場所：東北学院大学土樋キャンパス本館院長室
参加者 講師：齋藤渉学長室政策支援 IR 課兼教学組織改編推進室課長補佐
インタビュアー：野村信宗教部長(教職員後継者養成部会委員)
協力：鐸木道剛理事長特別補佐
工藤彩絵子(事務局)、小出佳祐(事務局)

12. 東北・北海道地区協議会常置委員会

日 時 2022年3月25日(金) 15時00分～16時00分
場 所 Zoom によるオンライン開催
参加者 原田善教理事長、大西晴樹院長・学長、野村信宗教部長
工藤彩絵子(事務局)

以上

2021年度

東北学院宗教センター 宗教活動報告

2021年度 東北学院宗教センター 宗教活動報告

東北学院宗教センター チャプレン 野村 信

東北学院宗教センターの2021年度の活動は、毎週月曜日に行われる打合せ会にスタッフが集い、詳細に検討・企画し、予定通りいくつもの行事を行うことが出来ました。コロナ禍で制限はありますが、各学校を回って、年2回の祈祷会とその後の懇談会を通してより交流を深められました。出版物関係は、「いのち ひかり あい」や「宗教活動報告書」、「水曜通信」、「説教集」、「キリスト教活動のしおり」なども順調に刊行できました。各学校で実施したクリスマス点灯式はこれからも工夫を凝らして楽しい、大切な時として実施したいと考えています。また東日本震災11年追悼祈祷会もセンター主催で実施できました。引き続きコロナ禍で可能な活動を検討し、より活発に続けて行く所存です。



第44回水曜公開礼拝【第1部 礼拝】
東北学院宗教センター主任（大学宗教部長）
原田 浩司
(2021年7月21日 配信)



第47回水曜公開礼拝【第2部 音楽による賛美】
演奏：今井 奈緒子（大学オルガニスト）
独唱：高橋 絵里（ソプラノ）
(2021年11月8日 配信)



クリスマスイルミネーション点灯式 礼拝
日時：2021年11月26日（金）



東日本大震災11年追悼祈祷会
日時：2022年3月11日（金）

1. 宗教センター構成員

所 長	大西晴樹（院長・学長）
センター主任（兼任）	野村 信（大学宗教部長）
所 員 1	野村 信（大学宗教部長）
所 員 2	松井浩樹（中学・高校宗教主任）
所 員 3	西間木順（榴ヶ岡高校宗教主任）
所 員 4	島内久美子（幼稚園園長）
所 員 5	木村純二（大学宗教主任）
所 員 6	田島 卓（大学宗教主任）
チャプレン	未定
主 事	未定
理事長特別補佐（宗教センター担当）	鐸木道剛
嘱託職員	大久保知美

2. 宗教センター実務委員会（打合せ会：祈祷と報告／予定）

日 時：毎週月曜日 49回開催

場 所：宗教センター室、宗教部長室、宗教センター事務室別室

3. 2021年度宗教センター委員会

	日 時	場 所	議 題
第1回 ※	2021年8月5日(木) 14:00～15:00	本館会議室 (Zoom 参加あり)	「宗教センターの前期活動の報告 と後期活動の予定」他
第2回	2021年10月22日(金) 15:30～16:30	本館会議室 (Zoom 参加あり)	「建学の精神についてのアンケート」 「クリスマス点灯式」他
第3回	2022年2月22日(火) 15:30～16:30	本会議室 (Zoom 参加あり)	「2020年度活動報告と2021新年 度のスタッフ体制と活動予定」他

※第1回委員会は出席者の不足により成立しなかったため、懇談会として開催。

4. 2021年度宗教センター祈祷会（各校訪問・懇談）

①前期 第1回

日 時	場 所	出席者
2021年6月22日(火) 16:00～17:00	東北学院幼稚園	11名
2021年7月16日(金) 15:30～16:30	東北学院中学校・高等学校	9名
2021年7月20日(火) 15:00～16:00	東北学院榴ヶ岡高等学校	8名

②後期 第2回

日 時	場 所	出席者
2021年11月19日（金）16:00～17:00	東北学院榴ヶ岡高等学校	8名
2022年1月14日（金）15:30～16:30	東北学院中学校・高等学校	10名
2022年1月28日（金）感染症予防で中止	東北学院幼稚園	

5. 東北学院宗教センター出版物

タイトル	内容	発行日	部数
宗教センター便り 「いのちひかりあい」第2号	各学校の宗教活動の報告など	9月8日	5,000部
宗教活動報告書 第2号	2020年東北学院宗教活動報告法人、大学、宗教センター、各設置校宗教活動報告、寄宿舎閉舎にあたって	11月30日	1,000冊
宗教センター便り 「いのちひかりあい」第3号	クリスマス特集号	12月1日	5,000部
東北学院礼拝説教集 第2号 「ひかりの中へ」	各学校での礼拝説教掲載	3月31日	5,000冊
キリスト教活動のしおり	各学校のキリスト教活動案内	4月1日	6,000冊
水曜通信 第7号～第15号	巻頭言、礼拝要旨、その他	4月～2月 (7,8,3月休刊)	各1,000部

6. 水曜公開礼拝（オンラインにて動画配信）

【第1部 礼拝】

回	公開日時	説教者	奏楽者	讃美歌	聖 書	頌栄	説教題
41	4月21日	野村 信	今井奈緒子	312	マタイによる福音書 13章31～32節	542	「心は天へ、足は地に」
				301			
42	5月26日	鐸木道剛	大泉真理	280	マルコによる福音書 9章14～26節	544	「大切なものは目に見えない？」
				301			
43	6月中止						
44	7月28日	原田浩司	小野なおみ	452	ヨハネによる福音書 12章20～26節	542	「一粒の麦」
				280			
45	9月22日	川島堅二	渡辺真理	187	ヨハネによる福音書 14章27節	542	「主が与える平和」
				391			
46	10月25日	田島 卓	菅原淑子	285	エレミヤ書 8章8～13節	544	「神への問い」
				391			

回	公開日時	説教者	奏楽者	讃美歌	聖書	頌栄	説教題
47	11月8日	木村純二	今井奈緒子	187 312	ヨハネの黙示録 3章20節	544	「イエスと共にする食事」
48	12月22日	松本宣郎	加藤晶子	98	イザヤ書 9章5,6節	544	「キリストはわたしのためにも」
				103	ヨハネによる福音書 1章1～5節		
49	1月26日	大西晴樹	菅原淑子	285	マルコによる福音書	542	「無縁社会と受援力」
				312	2章1～12節		
50	3月配信	長島慎二	小野なおみ	301	マルコによる福音書	544	「弟子たちを派遣する」
				391	16章9～18節		

【第2部 音楽による賛美】

回	演奏者	作曲者	曲目
41	今井奈緒子	H.シャイデマン	コラール編曲「キリストは死の縄目に繋がれしが、蘇りて」全3節
		F.メンデルスゾーン	コラールと変奏「われ心より慕いまつる」
42	大泉真理	D.ブクステフーデ	パッサカリア 二短調 BuxWV161
		J.S.バッハ	コラール編曲「神は我がやぐら」BWV720
43	6月中止		
44	小野なおみ	J.S.バッハ	《クラヴィーア練習曲集第3部》より 「クリステ、世の人すべての慰めなるキリスト」BWV670
		J.S.バッハ	J.S. バッハ《クラヴィーア練習曲集第3部》より 「深き淵より、われ汝に呼ばわる」BWV686
45	渡辺真理	セザール・フランク	前奏曲、フーガと変奏曲
		サン＝サーンス	ギルマン編曲 白鳥（動物の謝肉祭より）
46	菅原淑子	J.A.ラインケン	フーガ ト短調
		マックス・レーガー	序奏とパッサカリア 二短調
47	今井奈緒子 (ソプラノ) 高橋絵里	J.S.バッハ	教会カンタータ《神の時は最善なり》BWV106より 第1曲ソナティーナ
		J.S.バッハ	コラール編曲「装いせよ、おお愛する魂よ」BWV654
		G.フォーレ	《レクイエム》より「ピエ・イエズ」
		G.F.ヘンデル	《メサイア》より「私は知る、贖い主が生きておられるのを」
48	加藤晶子	J.シュテフェンス	「来たれ、すべての人の贖い主よ」第1節 第2節
		J.F.ダンドリュウ	「ミュゼット」ト長調の組曲
		H.シャイデマン	「天使は羊飼いに言った」
		J.S.バッハ	「甘き喜びのうちに」 作品番号729
49	菅原淑子 (メゾソプラノ) 我妻万希子	シュテルツェル	「あなたが私のそばにいてくださったら」BWV508
		グノー	アヴェ・マリア
		ヘンデル	メサイヤより「見よ、おとめが身ごもって」 「おお、良い知らせをシオンに伝えるあなたよ」
		カルク＝エーレルト	コラール即興曲集 作品65 「いざもろびとよ、神に感謝せよ」
		ジゲー	トッカータ ロ短調
50	小野なおみ (ソプラノ) 鈴木真衣	C.フランク	天使の糧
		C.サン＝サーンス	アヴェ・マリア
		M.ラヴェル	“二つのヘブライの歌”より第1曲「カディッシュ（頌栄）」

7. 教職員聖歌隊の活動

実施日：[毎月第4水曜日] (Zoom 開催) 4月28日、5月26日

(対面開催) 6月23日、7月28日、9月22日、10月27日、11月24日、

12月1日、12月8日、1月26日、2月16日

出席平均人数：約10人

主な練習曲目：「まぶねのなかに」(讃美歌121番) 他

「Erhöre mich, wenn ich dich rufe」(SWV 289) ハインリヒ・シュッツ

職員クリスマスでの合唱実施：12月24日動画を配信

8. 東北学院「クリスマスイルミネーション点灯式」の実施

日 時：2021年11月26日 (金)

場 所：[礼拝] ホーイ記念館ホール [カウントダウン] ホーイ記念正面玄関前

出 席：約50名

9. 史資料センター／宗教センター共催「調査報告会」の実施

日 時：2021年1月25日 (火) 14時半～16時

場 所：ホーイ記念館1階 コラトリエ・リエゾン

出 席：約15名

10. 東日本大震災11年追悼祈祷会

日 時：2022年3月11日 (金) 14時半～14時50分

場 所：ラーハウザー記念東北学院礼拝堂

出 席：約47名

11. ホームページの開設と更新

活動案内と出版物の掲載など適宜掲載

2021年度

東北学院大学 宗教活動報告

2021年度 東北学院大学 宗教活動報告

東北学院大学 宗教部長 原田 浩司

「コロナ禍」は、20年度に引き続き21年度の大学の宗教活動に影響を及ぼしました。20年度は対面での活動を全面的に中止しましたが、21年度はその都度、感染状況の様子を注視しつつ、対面での活動をできる限り再開するよう務めました。

大学礼拝は、多人数の密集を回避すべく、週に一度のオンライン配信を続けながら、月曜日のみ、各キャンパスで礼拝堂への入場人数に制限を設けて対面で実施しました。

五橋キャンパスへの移転計画のため、泉キャンパスでは現在のパイプオルガンが設置された状況で迎える最後のクリスマスだったため、対面で公開イベントが実施できなかった点は残念でしたが、オンラインによる動画配信を行いました。コロナ感染症への予防対策のために、あらゆる行事・活動が制限される状況下が続きましたが、宗教部を構成する教職員一人ひとりの協力と努力によって21年度を無事に乗り切ることができたことは幸いでした。



2021年度第46回サマー・カレッジ
日時：2021年8月3日(火)



2021年度東北学院大学教職員修養会
オンライン配信による実施
日時：2021年8月30日(月)



第32回泉キャンパスクリスマス
新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン配信にて実施
配信期間：2021年12月3日(金)～12月30日(水)

1. 教員組織

宗教部長	野村 信
書 記	原田浩司
土樋担当	出村みや子、藤野雄大
多賀城担当	木村純二、原田浩司
泉 担 当	田島卓、吉田新、渡邊有美
総合人文学科長	川島堅二
キリスト教文化研究所所長	出村みや子
大学オルガニスト	今井奈緒子

2. 礼拝オルガニスト（五十音順、敬称略）

阿部和子、今高和枝、大泉真理、小野なおみ、加藤晶子、亀井睦子、京極扶美恵、菅原淑子、長谷部真理子、日野百合子、渡辺真理

3. 大学礼拝【添付資料1】

2020年度より引き続き、オンライン礼拝の配信を前期後期それぞれ15週分配信し、計30週配信を行った。

対面礼拝については5月17日（月）から開始し、毎週月曜日に実施した。寄宿舍礼拝についても同様に5月より礼拝を開始し、泉男子寄宿では毎月第1・第3火曜日、泉女子寄宿舍では毎月第1・第3月曜日の月2回実施し、旭ヶ岡寄宿舍では毎週火曜日に礼拝を実施した。

<オンライン礼拝詳細>

■配信総回数 30回（前期：15週、後期：15週）

■担当者一覧及び担当回数

野村信宗教部長	6回
木村純二大学宗教主任	3回
田島卓大学宗教主任	4回
原田浩司大学宗教主任	5回
藤野雄大大学宗教主任	4回
吉田新大学宗教主任	2回
川島堅二総合人文学科長	5回
鐸木道剛理事長特別補佐	1回

<対面礼拝詳細>

■大学礼拝実施回数

土樋キャンパス	毎週月曜日	全23回
泉キャンパス	毎週月曜日	全23回
多賀城キャンパス	毎週月曜日	全23回

■寄宿舍礼拝実施回数（宗教部教員派遣数）

泉男子寄宿舍	毎月第一、第三火曜日	全10回
泉女子寄宿舍	毎月第一、第三月曜日	全10回
旭ヶ岡寄宿舍	毎月第一、第三火曜日	（その他の週は舎監が担当）

■担当者一覧及び担当回数（全107回）

大西晴樹院長・学長	7回
野村信宗教部長	15回
木村純二大学宗教主任	9回
田島卓大学宗教主任	9回
原田浩司大学宗教主任	11回
藤野雄大大学宗教主任	10回
吉田新大学宗教主任	11回
出村みや子大学宗教主任	11回
渡邊有美大学宗教主任	6回
川島堅二総合人文学科長	8回
今井奈緒子大学オルガニスト	2回（音楽礼拝）
長島慎二機械知能工学科准教授	8回

4. 春季宗教教育強調週間特別伝道礼拝【中止】

5. 秋季宗教教育強調週間特別伝道礼拝【中止】

6. 第32回泉キャンパスクリスマス

新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン配信にて実施。

配信期間 2021年12月3日（金）～12月30日（水）

第一部 礼拝

説教者	野村信宗教部長
説教題	「小さな光、心を照らす光」
司会者	吉田新大学宗教主任
奏楽者	今井奈緒子大学オルガニスト

第二部 クリスマスコンサート

吹奏楽	東北学院大学シンフォニックウインドアンサンブル、教職員アンサンブル
オルガン	今井奈緒子大学オルガニスト
独唱	鈴木美紀子（ソプラノ）、谷地畝晶子（アルト）、中川郁太郎（バス）
合唱	東北学院大学宗教部聖歌隊（OB含む）

7. 大学クリスマス

新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン配信にて実施。

配信期間 2021年12月16日（木）～12月30日（木）

司 式 野村信宗教部長

奏 楽 今井奈緒子大学オルガニスト

説教者 佐々木栄悦牧師（日本基督教団登米教会）

説教題 「幼子イエスを抱いた時」

合 唱 オラトリオ「メサイア」（ヘンデル作曲）

奏 楽 今井奈緒子大学オルガニスト

指 揮 中川郁太郎宗教音楽研究所特任講師

独 唱 鈴木美紀子氏（ソプラノ）、谷地畝晶子氏（アルト）

合唱団 東北学院大学宗教部聖歌隊

8. 第25回スプリング・カレッジ

日 時 2021年4月10日（土）14時40分～16時40分

場 所 Zoom ミーティング

参加数 33名（内、学生22名、教員9名、職員2名）

9. 第46回サマー・カレッジ

日 時 2021年8月3日（火）9時00分～14時30分

場 所 土樋キャンパスホーイ記念館2階H202教室、
Zoom ミーティング併催

主 題 「逆境の中で輝くキリスト教」

講 演 講 師 野村信宗教部長

講演題 「『光は力』私たちの『内的な力』はどこから来るのか」

参加数 32名（内、学生20名、教員10名、職員2名）

10. 第65回教職員修養会

日 時 2021年8月30日（月）13時00分～15時20分

場 所 YouTube 上での学内ライブ配信

主 題 「聖書に聴く」

第1回講演 講 師 大西晴樹学長

講演題 「押川方義と横浜バンド」

映 画 上 映 解 説 日野哲東北学院史資料センター研究員

映 画 「東北学院の40年」

第2回講演 講 師 野村信宗教部長

講演題 「東北学院大学の建学の精神とキリスト教活動」

11. キリスト者等推薦入学生との懇談会【中止】

12. 礼拝奉仕者懇談会（事務職員）【中止】

13. 礼拝オルガニスト懇談会

日 時 2022年2月21日（月）11時00分～12時00分
場 所 土樋キャンパス8号館第3、4会議室
参 加 宗教部教員、礼拝オルガニスト他

14. 礼拝司会者（牧師）懇談会【中止】

15. 宗教部会（Zoom 会議）

開 催 日 2021年 4月22日（木）、5月27日（木）、6月24日（木）、7月8日（木）、
8月31日（火）、9月30日（木）、10月28日（木）、11月25日（木）
2022年 1月13日（木）、2月21日（月） 計10回

16. 大学宗教主任会

2021年度においては開催無し

17. 聖書研究会

土樋キャンパス	吉田 新	聖書に学ぶ生きるヒント
	田島 卓	旧約聖書に親しむ
	川島堅二	バイブルトーク
	野村 信	希語羅語聖書読書会
多賀城キャンパス	原田浩司	キリスト教の基礎知識
	長島慎二	賛美と聖書の学び
泉キャンパス	木村純二	聖書の学びと祈りの時間
	藤野雄大	古典から学ぶキリスト教
	野村 信	み言葉を慶び、歌う

18. 宗教部予算会議

日 時 2021年11月17日（水）16時30分～17時30分
議 題 「2022年度大学宗教部当初予算について」
場 所 Zoom 会議
参 加 野村信宗教部長、大学宗教主任、各キャンパス事務担当者

19. 宗教部自己点検評価会

(1) 2021年度第1回（メール審議）

日 時 2021年9月27日（月）～9月30日（木）
主 題 「2021年度（前期）宗教活動について」
「2021年度（後期）宗教活動予定について」

(2) 2021年度第2回

日 時 2022年2月21日(月) 14時00分～15時00分
主 題 「2021年度宗教活動について」
「2022年度宗教活動予定について」

20. 青山学院大学・東北学院大学合同チャプレン代表者会【中止】

21. 宗教部研修会

日 時 2021年7月29日(木) 15時00分～17時00分
場 所 土樋キャンパス8号館第4会議室
Zoom会議併催
主 題 「震災10年のTGミニストリーの回顧と挑戦」
発題① 「震災10年のTGミニストリーの回顧から考える課題」
発題者 原田浩司大学宗教主任
発題② 「コロナ後の大学礼拝—ランカスター神学校の取り組みから」
発題者 藤野雄大大学宗教主任

22. 第26回キリスト者教員研修会

日 時 2022年1月6日(木) 14時00分～16時00分
場 所 Zoom会議
発 題 「東北学院大学宗教部が大切にしてきたこと」
発 題 者 野村信宗教部長

23. 大学宗教委員会

日 時 2022年2月28日(月) 15時30分～16時30分
場 所 Zoom会議

24. 学長招待卒業生懇談会【中止】

25. 『チャペルニュース』

入学・進級号(149号)

26. 卒業記念礼拝

日 時 2022年3月24日(木) 11時00分
説教者 野村信宗教部長
説教題 「LIFE LIGHT LOVE」

27. その他

礼拝堂管理、図書資料受入、調査回答

2021年度 第65回東北学院大学教職員修養会 報告

第65回東北学院大学教職員修養会プログラム

日 時：2021年8月30日（月）13時00分～15時20分

場 所：土樋キャンパス8号館5階押川記念ホール及びYouTube ライブ配信
（ハイブリット開催）

プログラム

開 式

開 会 祈 禱 担当：宗教部長 野村 信

理事長挨拶 担当：原田 善教

第1回講演 「押川方義と横浜バンド」
担当：学長 大西 晴樹

映 画 上 映 「東北学院の40年」
担当：東北学院史資料センター 日野 哲

第2回講演 「東北学院の建学の精神とキリスト教活動」
担当：宗教部長 野村 信

閉 会 祈 禱 担当：大学宗教主任 原田 浩司

「押川方義と横浜バンド」

東北学院院長・学長 大西 晴樹

ただいま紹介に預かりました大西であります。着座にて失礼致します。

私に与えられました課題はですね、押川方義と横浜バンドということであります。これに関しまして、スライドをいくつか作ってまいりましたので、それに添いながら今日お話ししていきたいと思います（スライド①）。

東北学院の淵源ということですが、言うまでもなく仙台神学校ということになっております。仙台神学校から始まったということです。1886年の5月、東北学院では日にちは明らかにしておりませんが、宮城学院ではわざわざ15日と書いてくれておりますけれども、東北学院は5月のいつかということ、いつかというのは5日ではなくて、いつかということありますけれども、5月に2人の教師と6人の生徒が集まったということです。これは写真から言ってるんだと思います。

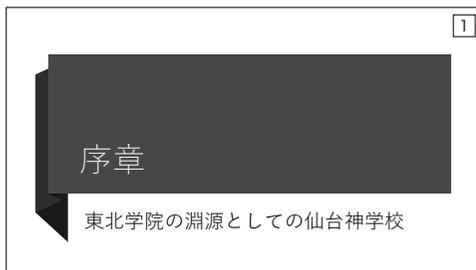
この写真を見てください（スライド②）。確かに、真ん中にウィリアム・ホーイ宣教師

28歳、押川方義宣教師35歳が座っております、その周りに6人の生徒がおります。

実は、「水曜通信」の最新号ですけども、日野哲理事が、実は生徒は7人いたのではないだろうかということを言っております。実際に卒業したのも二人、この中の二人ではなかったかということを伝えてありますので、さらに関心のある方はそちらの方をぜひ読んでいただきたいと思います。最新号です。

それでこの生徒たちは19歳から32歳までの生徒たち、バラエティに富んでますけれども、青年たちが多く集まってきた。24歳の青年は結婚して3人の子どもがいたということですから、ダイバーシティに富んだ学校でもあったということあります。

押川の依頼にホーイが私財をなげうって応えたということですが、これはどうということなのかということですね、約束がありました、2人の間には。日本人の牧師になりたい青年たちの面倒を1年間見てもらえないかということ、押川方義が



ホーイ宣教師に言った。ホーイはすべて自分が面倒を見るということで、多分授業料を払わない、まあ言ってみれば、その代わり卒業後、5年間、一致教会、日本基督一致教会という教派がありますけれども、長老改革の教会で働くということを目指して学びを続けるということが本音にはあったんだろうと思います。こういう形で仙台神学校は開校いたしました。

Sendai theological training school という名前になっております (スライド③)。

トレーニングスクール、普通ならばですね theological seminary、神学校と言うんですけれども、ホーイ自身トレーニングスクールという名前にしております。これは何かというと、トレーニングスクールというと自動車学校とかそういう類を思い出すんですけども、要するに theological seminary とするにはあまりにも、まあ言ってみれば、まだ発展していない、そのような学校であるということ謙遜して言うるんだと思いますけども。そのような形で、手紙にはトレーニングスクールと書いてあります。

仙台の街外れに近い、木町通りと北六番丁の角、現在の東北大学医学部の構内だと思えますけども、そこで産声をあげたとい

うことであります。校舎は、教室兼寄宿舍の粗末な日本家屋。萱葺きと書いてありますが、この屋根、ちょっと萱葺きかどうか確かめられませんが、これが初代の校舎であつたろうというふうに考えることができます

教授科目は信仰問答、聖書釈義、キリスト伝、神学入門、精神哲学、英語が教えられていた。最初から英語が教えられていたということでもあります。

この押川とホーイの協定というか約束というのはあまりにも急でした。後で事情を説明しますが、急なことだったので、ホーイ宣教師を派遣したアメリカ・ドイツ改革派教会、これはドイツ改革派とも言われます。要するにアメリカにいるドイツ語圏からの移民の人たちによってできた教派であり、改革派の教派でありますけども、その伝道局、ミッションボードの承認を得たのは、さらにその一年後でした。

この背景はですね、押川方義牧師がですね、仙台で伝道をしまして、次第に仙台教会が大きくなってきました。設立は1881年の5月であり、現在の日本基督教団仙台東一番丁教会の前身でありますけれども、仙台教会を設立いたします (スライド④)。

先日、キリスト教学校教育同盟の大学部

'Sendai theological training school'

- 仙台の町はずれに近い木町通りと北6番丁の角 (現在の東北大学医学部構内)
- 校舎は、教室兼寄宿舍の「粗末な日本家屋」
- 信仰問答、聖書釈義、キリスト伝、神学入門、精神哲学、英語が教えられる
- あまりにも急なことなので、アメリカ・ドイツ改革派教会海外伝道局の承認を得たのは1年後
- 2年後にSendai theological seminary

3



キリスト教会の活発な地域伝道

- 仙台教会 (現在の日本キリスト教団仙台東一番丁教会) は、1881年5月に設立
- 1887年には、150名の教会員を数えた
- 1885年、古川、岩沼、石巻に相次いで教会を設立
- 写真は、1901年の新会堂

4



会の研修会がありまして、会場は弘前学院だったんですが、弘前では1875年ですからこれよりも6年早くですね、弘前教会ができておりました。いわゆる弘前公会です。仙台教会においては、今述べたように、1881年から長老改革派の伝道が始まったということですが、仙台神学校ができて1年後には、早くも150名の教会員がいました。また仙台神学校ができた年には古川、岩沼、石巻に、相次いで教会ができました。したがってこういった活発な日本のプロテスタント伝道を背景に6人の青年たちが育ってきたというように考えていだろうということになります。

この写真はですね、1901年にできた新会堂でありますけれども、立派な会堂が仙台市内に立ち上がり、これがあの南町通りの東本願寺別院の跡地に建築されたんですけども、このような背景のもとに、仙台神学校が生まれてきたということになります。

あえて学院カラーのブルーを使いまして、キリスト教人格教育を建学の精神とする東北学院ということなんです。これが東北学院の最初の建物と言ってもいいと思います(スライド⑤)。先ほどの仙台教会が建つ前の土地の隣にある建物ですけども、これが神学部の建物だったということでもあります。

1891年、5年後、仙台神学校は'North Japan College'というふうに名前を改めます。いわゆる「東北学院」ということでもあります。

設置目的は「智徳併行の教育ヲ授ク」ということありまして、知識のみならず徳育教育にも力を入れる、そういった学校と

して、総合学校として5年後改組されます。予科2年、本科4年、神学部3年、おそらくですね、神学校への予備門として、普通教育を施すということ、プリンストンもそうでありますけど、大学というのは、アメリカの東部名門大学は通常そういう形で発展してまいりますけれども、それに近いようなことを三校祖が考えたのかもしれませんが、断然この予備門の普通教育の方が人気が出てくるということになってまいります。そして押川方義はですね、この年の8月に初めて東北学院の院長に就任いたします。それまではですね、いわばあの仙台教会の牧師養成学校でしたから、アドバイザー役をやってたわけですけども、ここで初めて自分が東北学院院長に就任したということになります。

この神学部校舎、大変立派な建物であります。

これ私、写真を見た時ですね、どこかで見たことがあると実は思いました。どこで見たんだろうと思うとですね、まだ現物が残っているんですけども、明治学院の記念館というのがこれとほぼ同じです。東北学院の方が立派です。塔がある、四角い塔がある、ゴシック様式の塔がある分立派です。それは1年前に明治学院の記念館を建てた設計図とほぼ同じ設計図でこれが作られた

キリスト教人格教育を建学の精神とする東北学院



⑤

- ・1891年9月、仙台神学校は改名「東北学院」(North Japan College)に改めた
- ・設置の目的は、「智徳併行の教育ヲ授ク」
- ・予科2年、本科4年、神学部3年
- ・翌年8月、押川方義は、東北学院の院長に就任
- ・写真は、1891年9月に仙台教会の隣接地に建設された神学部校舎

ということになります。

残念ながら東北学院はこの建物を失ってしまいますけれども、見たい方は明治学院に行ってくださいれば、やはり神学部として、図書館として、藤村が学んだ校舎でもありますけれども、残っておりますので是非ご覧頂ければと思います。大変立派なものが仙台に建った。おそらくこの仙台教会とこの神学部を見た人たちは外国に行ったような錯覚を覚えたのではないかと思います。赤レンガのゴシック建築であります。

改編当時ですね、学生たちが119名おりましたけれども、そのうちの61名はクリスチャンであったということですから、総合高等中等教育機関でもあり同時にキリスト教の香りが強い学校としてスタートしたことになるわけであります。

第1章 押川方義の前半生ということでもあります（スライド⑥）。

今日のテーマは東北学院についてではなくて、押川方義と横浜バンドについてですので、これより本論の方に入ります。

押川はですね、松山藩の出身であります。伊予松山ですね。この地図見て頂けますでしょうか（スライド⑦）。幕末の四国でありますけれども、松山、今治、西条、高松だけがこれは親藩ということでありまして、土佐に至ってはこれは新政府側の藩という

ことにもなってます。そういうような勢力関係の中で、彼は育ったということになります。1850年に生まれますから、ちょうど17歳、18歳の春にですね、明治維新ということにもなるわけであります。下級武士橋本昌之の三男として松山城下に生まれました。11歳のころ、養子に出されましてですね、松山藩士押川方至の養子となります。

15歳の頃、攘夷か恭順かの間で苦しんだ実父昌之が自刃いたしました。時代が大きく変わるといことで藩の中でもですね、意見が対立した。おそらく押川の実父はですね、その狭間で苦しんでのことだと思いますけれども、自刃したと言われております。

彼と明治維新との関わりですけれども、推測なんだろうと思います。私も確かな証拠をつかんでおりませんが、1867年に第二次長州征伐に参戦したかと言われております。瀬戸の大須で戦ったということで、相手は最新式のヒール銃、こちらの松山藩は親藩、領主久松松平家の関係で親藩だったんですけれども、火縄銃とかケーブル銃で応戦した。ヒール銃は連発、連射できますけれども、松山藩の方は1回撃つと5分くらい待たなければならない、力の差は歴然となりまして、言ってみれば、佐幕派は負けてしまいます。「勝てば官軍、負ければ賊軍」

6

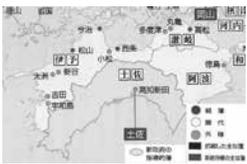
第1章

押川方義の前半生

7

松山藩の押川方義

- 1850年伊予松山藩の下級家臣橋本昌之の三男として松山城下に生まれる
- 11歳のころ、松山藩士押川方至の養子となる
- 15歳のころ、攘夷か恭順の意見で苦しんで実父昌之が自刃
- 67年第2次長州征伐に参戦
- 「勝てば官軍、負ければ賊軍」
- 地誌は『国誌松山成西松川方至』学芸クラス、2006年、106頁



という汚名を若い時期に着せられたということになります。

さて、押川でありますけれども、大変優秀な青年だったということでもありますけれども、藩校明教館で漢学を修めます。その後、戊辰戦争に負けてからは洋学に目を向けるわけです（スライド⑧）。それは当然のことだと思います。やはり力の差というものをはっきり見せつけられたということにもなるわけでありまして、日本をなんとかしなきゃいけないというふうに当然のことながら考えたと思います。そこで藩で英学を学んでいた彼はですね、明治に入ってからですね、藩命で東京遊学を命じられた19名の中に抜擢されました。

この頃彼は既に結婚しておりまして、押川家の三女常子と結婚したんですけれども、子供もいたのですが、やはり藩命に従って一人でですね、東京遊学に出かけていくことになります。箕作秋坪の三叉学舎で英学を学ぶためであります。当時は福澤諭吉の慶応義塾かこの箕作秋坪の三叉学舎かと言われてまして、三叉学舎からは東郷元帥とかですね、嘉納治五郎とかですね、そういった人たちが出ております。

その後ですね、20歳の時に東大の前身である大学南校、これは昌平黉から南にあるんで大学南校と言ったそうなんですけども、いわゆる洋学校に進学いたします。しかしここではですね、この大学南校は長続きしませんでした。各藩の貢進生、まあいってみれば優秀な生徒たちを集めて大学を形成するんですけども、南校を作るんですけども、レベルの差、あるいは年齢の差がバラバラ

です、高等教育機関としてはうまくいかず、南校は解散してしまいます。

特にこの写真に出ている人物はですね、南校の教頭であったアメリカ・オランダ改革派教会派遣の宣教師フルベッキという人物であります。フルベッキという人物について言えばですね、この人は実はですね、オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語を操れるという大変な人物でした。それゆえにですね、明治政府も彼を珍重したんですけれども、彼はもう一つ言語をしゃべれるという。私は何かと思って耳をそばだてたんですけども、まあ、私が彼と話したわけではありませんけれども、私は沈黙という言語をしゃべれますということで、単なる宣教師じゃないんです。政府の、まあいってみれば特任、特命を受けてですね、それを実現する能力があるとみられたんでしょう。長崎にいたんですけど、これも後でお話しますけども、大学南校の教頭に抜擢されることになりました。多言語だけでなく、沈黙という言語もありますなどということも言っている思慮深い宣教師であります。

それでこのフルベッキ宣教師の影響もあったのだと思いますが、この当時のですね、日本の学問状況ということについて言えばですね、まだ高等教育機関ができる以

漢学から洋学へ ⑧



- ・1869 (M2) 年、藩命で東京遊学を命じられた19名に選抜される
- ・当時既に結婚しており、妻子がいた
- ・箕作秋坪の三叉学舎で英学の学びを開始
- ・1870 (M3) 年、20歳の時、東京大学の前身大学南校に進学、しかし、貢進生制度が上手くいかず、大学南校は解散
- ・写真は、同校教頭でアメリカ・オランダ改革派教会派遣日宣教師G.フルベッキ

前の時代です。その中でじゃあ誰が日本の青年たちに洋学を教えたのかということですが、すけども（スライド⑨）、開国直後の1859（安政6）年に、本州に初めてプロテスタントの宣教師がやってまいります、ヘボン、ブラウンというアメリカ長老派教会とアメリカ・オランダ改革派教会宣教師が横浜に上陸します。二人は、明治学院に発展する私塾であるヘボン塾、ブラウン塾で洋学を教えます。

ウィリアムズという人はですね、アメリカ聖公会の宣教師として長崎に上陸したんですけれども、のちに立教学院を立ち上げました。同じ年に長崎に上陸したフルベッキはですね、大隈重信に致遠館という長崎で洋学を学ぶ藩校で、佐賀藩はですね、長崎に洋学を学ぶ学校を持っていたということですから、大変なものだと思いますけれども、そこのお雇い外国人になっていましたから、そこで大隈に、副島にもそうでしたけれども、特に大隈には聖書と各国憲法を教えたということです。

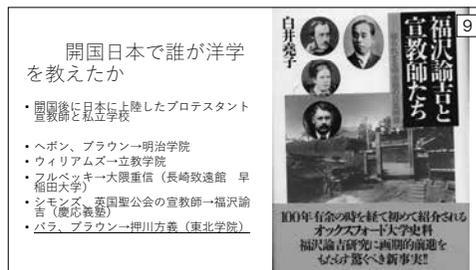
早稲田の伝統が、まあ政治経済学にあるとするならば、まさに大隈にですね、社会科学の教養を与えたのは、フルベッキであると思います。早稲田大学は、隠しておりませんで、ホームページに大隈重信はフルベッキから洋学（憲法）を学んだと書いてあります。

さてちょっとやっかいなのが慶応義塾です。ここで『福澤諭吉と宣教師たち』という本の扉を紹介しておりますけれども、白井堯子さんが書いた本であります。白井さんはオックスフォードの図書館で驚くべき発見をしたということです。それは何かと

いうと慶應義塾は福澤諭吉によって建てられたということですが、福澤はずいぶんアングリカン・ミッショナリー、英国聖公会の宣教師の力を借りて、慶應義塾を創りあげていったということです。

慶応の創立150周年の時にですね、気づいている方がいらっしゃるかもしれませんが、チャールズ皇太子がわざわざ来ています。それぐらい慶應義塾とイギリスというのは関係が深いんですけれども、発疹チフスに苦しむ福澤は、虫下し薬で有名なシモンズ宣教師をお抱えの医師として三田の山に住ませた。それ以外にもイギリス聖公会の宣教師、立教はアメリカ聖公会ですけれども、アメリカのアングリカンですけれども、慶応は直接イギリス聖公会の宣教師を住まわせて、英学のメッカとしていました。しかし、早稲田は正直に書いてるんですけれども、慶応は正式な塾史にはこのことはあまり触れられておりませんので、言ってみれば、この白井さんの本によって、その実態がつまびらかにされたのです。

さて、本学でありますけれども、押川方義は、ジェームズ・ハミルトン・バラという1861年に来日した宣教師、あるいは先ほどのブラウンに習っておりますので、その押川方義によって東北学院が生まれたと言っても過言ではないと思います。これは



アメリカ・オランダ改革派教会が直接この学校を創ったという意味じゃなくて、押川方義にキリスト教を教え、洋学を教えたのがアメリカ・オランダ改革派教会だったと理解してくださって結構です。そういう成り立ちがあるということで、あえて特記させていただきました。東北学院が、開国期の青年たちが受けた影響の中から生まれてきた学校であると言っても間違いではないと、そのように思います。

さて、青年たちは、じゃあどうしたかということですか。

先ほど言いましたように押川は賊軍であります。負けました。本当に悔しかったと思います。何によってこの恨みをほらせばいいのか、薩長の連中は若くして藩閥政治のもとで立身出世を重ねていく。じゃあ、自分たちは何をすればいいのかということにもなってくる。そこで彼は藩命を受けて東京遊学を許されたわけですから、英語を極めようということになります。押川自身の言葉を使えばですね、「完全で実用的な英語」「perfect and practical English」、そういったものを身に付けるためにですね、藩主の許可を得て、横浜修文館へと、横浜遊学へと切り替えています（スライド⑩）。

さて横浜という町ですけども、これは横浜村という湿地帯の本当にささやかな町でした。神奈川に宿場がありますけれども、横浜というのはご存知の通りですね、ちょっと町が南の方にありまして、なかなか理解しがたい町なんです。それはなぜかということ、居留地、外国人居留地によって発展した町ですからそうなってるんですけども、そ

の居留地にはですね、英米の商社が建ちました。英一番館といえばジャーディン・マセソン商会という、大変大きな、日本以外ではアヘンもやっているような貿易商社でありまして、武器とアヘンを輸入した、絹織物や茶を輸出したということでもありますけども、そこに今はシルクセンターという建物が建っております。街並みが商館やホテル、宣教師館から始まったということです。

居留地で英語を教えていたアメリカ人宣教師の私塾に青年たちは集まったということでもあります。蘭学者福澤諭吉が東京の三田の山からですね、弟子たちを連れて居留地見学にやってまいりました。福澤曰く「看板が読めない」。当世一流の蘭学者が看板が読めない。どうしてかというと英語で書かれていたからです。要するに日本は鎖国していましたので、16世紀の世界経済の覇者オランダの影響を強く受けておりました。ところが時代はもう19世紀の後半でありまして、まさにイギリスのですね、パックスブリタニカの時代でありますから、出てくる外国語というと英語であります。それが読めないって言うんで、福澤は明らかに、私はもうこれから英学に変える、慶應義塾を英学に切り替えるという決断をしていくわけです。言ってみれば、英学への転向を表明いたします。横浜修文館という、いわ



「完全で実用的な英語」を学びたい

- ・大学南校解散後、方義は、「完全で実用的な英語」身に付けるために、藩主の許可を得て横浜修文館へ
- ・開港都市横浜の外国人居留地に英米の商館、アメリカ人宣教師が集まり、英語を教える
- ・蘭学者福澤諭吉は、慶應義塾の弟子と一緒に横浜居留地見学の際に「看板が読めぬ」といい、英学への転向を表明
- ・横浜修文館の学僕は、井深龍之助（完全津藩主小姓、後の明治学院総理）

ば公立の学校ですけれども、そこにですね、井深梶之助という会津藩主の小姓をやった人ですけれども、かなり会津藩でも石高の高い家柄ですけれども、その人がいたこともあったのでしょうか、当時は学僕と言ってアルバイト学生として働いておりましたので、同じ賊軍同士、押川はそこでまず学びを始めるということになりました。

ここに掲げている写真はですね、ヘボンの『和英語林集成』という辞典です。英語約2万語、和語は約1万語、和英でも英和でも両方使えるんですけども、これを上海にある長老派の印刷所美華書院で組版を作成してまいりまして、明治維新の前年1867年に、横浜とロンドンで刊行しています。これによって、日本はですね、明治維新の前年に、西洋をキャッチアップするための道具を手に入れることができました。これも宣教師の影響ということになります。この辞典、随分使われまして、日本が明治維新を起こした時に各国大使館、各国政府はこぞって日本の事情を知るためにこの辞典をロンドンの出版社から、トリビュナーという出版社ですけれども、購入した訳であります。日本でもこの辞典はかなり近代化の役に立った、三版を重ね、明治30年ぐらゐまで第一線で使われていたということですが、随分版を重ねて使われたということにもなります。

さて、修文館の中でですね、単なる教師とのつながりだけ、勉強だけでは飽き足りない青年たちは、修文館でも教えていたバラという1861年来日したアメリカ・オランダ改革派教会の宣教師の周りに集まってまいります（スライドⅡ）。

なぜならば、彼はですね、ヘボン邸、居留地39番にあるんですけれども、現在「人形の家」という博物館がありますがその並びにあった建物ですけれども、そこで1871年から英語と日本語の礼拝を行います。説教を聞きながらですね、英語を学ぶことも出来るという訳です。押川もいつしかそこに通うようになりました。彼らはさらに、バラは1回アメリカに帰りますけれども、帰国後バラは自宅に隣接する「聖なる犬小屋」と言われている建物に会場を移します。後でお話しますが、"Sacred Dog's Kennel"と言われている、自ら言ってるんですけれども、これは何かというですね、「うさぎ小屋」という言葉がありますでしょ、同じでして、犬小屋は小さいですから、ちっちゃな会堂です。本当に石造りの小さな膝と膝を突き合わせれば触れあう様な。現在は横浜外国人墓地に移設されていますので、ぜひ行った時にご覧いただきたいと思います。そこから、そこで押川も礼拝に参加するようになってきたんです。その、そこでですね、禁教下、つまり「キリシタン禁制の高札」がまだ掲げられている、これは1874（明治6）年まで撤去されませんでした。禁教下の1873（明治5）年にクリスチャンになるわけです。押川は、聖書を読み、説教を聞き、祈禱会に参加す



バラ塾

- ・ジェームズ・ハミルトン・バラは、1861年未日のアメリカ・オランダ改革教会派遣駐日宣教師
- ・1868年から英語と日本語の礼拝をヘボン邸（居留地39番）71年から自宅に隣接する「聖なる犬小屋」（原簿地157番）でも、押川もいつしか「キリシタン禁制の高札」が掲げられる中、バラ塾で、聖書を学び、説教を聞き、祈禱会に参加
- ・バラの祈禱会での祈り「神よ、わが日本を救い給え」という言葉が方義の心を揺り動かした

るようになった。祈祷会でのバラの祈り「神よ、わが日本を救い給え」という言葉が押川の胸に強く響いたのです。彼は戊辰戦争に負けた時日本を失った、そのような人物ですけども、日本を救い給えとバラが祈った時の喜びというか、この喜びってのはいかなものであったかというのは想像に難くないわけでありませう。

日本で最初のプロテスタント教会である横浜公会、現在の日本キリスト教会横浜海岸教会ですけども、バラより洗礼を授けられた8名の中に押川がいたのです。横浜公会の青年長老も果たしますので、指導力もあった人だと思いますが、クリスチャンになったので、日本最初のプロテスタントの教会の会員であったという訳です（スライド⑫）。

キリスト教の解禁、つまり「キリシタン禁制の高札」の撤廃というのは、実は明治政府が喜んで撤去したものではありません。皆さんご存知の通りです、明治天皇の下です、広く海外から知識を得るべしと言っているんですけども、キリスト教に対しては迫害が続きました。鎖国の下での経験があり、なかなか解禁されませんでした。

しかしですね、先ほどのフルベッキがですね、「ブリーフ・スケッチ」っていうのを書くんですけども、そこでは百聞は一見にしかずで、要するにぜひ日本人は海外を見てきたらいい、海外がどういふふうになっているか、ということで遣欧米使節団107名が派遣され、津田梅子もそれに乗っていくわけですけども、そこで特にですね、政治家、学生、神道の神官も仏教の僧侶も乗船し、ぜひ見て来てほしいということ

で、今で言えば海外実習授業みたいなものですけども、海外に行った。そうしたらですね、欧米の市民の抗議デモに遭うんですね。日本ではまだキリシタンを迫害してらるだろうということでデモに遭って、そこで伊藤博文や大久保利通が一旦帰国して、岩倉の指示のもとに、あの「キリシタン禁制の高札」を撤去することによって、初めてキリスト教が解禁されるわけです。それは「黙許」という言葉を使ってますけども、黙って赦したということにもなってます。これ以降キリスト教の葬儀をしても、迫害されることは少しずつなくなるわけです。この解禁の前年に押川はキリスト教の洗礼を受けている訳です。

このバラの考え方ですけども、彼はヘボンと違いまして、アメリカでも大きな教派の派遣ではありません。ヘボンはアメリカ長老派教会ですけども、バラはアメリカ・オランダ改革派教会と言って、アメリカに移ったオランダ人の、先ほど東北学院が支援を受けたアメリカ・ドイツ改革派教会と同じ、もっと小さいと思いますけども、オランダ人の移民たちによる改革派教会の出身でありますので、これからの日本宣教は教派によらずに日本の無教派主義の立場を取っていかうということを主張して、押川もその独立心にえらく共鳴してですね、



言ってみれば影響を受けたといっても間違いではないと思います。

さてブラウンですけども、サミュエル・ロビンズ・ブラウンは、アメリカ・オランダ改革派教会派遣駐日宣教師で、結構年をとった方です(スライド13)。なぜかというとな彼は日本に来る前、8年間、中国で伝道をしていました。マカオで英語教育に従事しておりまして、モリソン記念学校を建てて、その学校長をしておりまして。ここで、ブラウンはですね、英語教育というのは、primaryそれからintermediateそれからadvancedというコースを踏んで教えなければならぬということを明確に提唱します。なんでも言葉を覚えればいいんだということではなく、段階を踏んで教えなければいけない。それから「正則」と言いますけれども、発音も忠実に教える。先ほどのヘボンの辞典がですね、ヘボン式ローマ字を使っていますけれども、ヘボン式ローマ字は日本語の発音を汲み取って、アルファベットに直したいろんなローマ字がありましたが、その中の一つです。発音が良ければ耳も良くなりますし、英語の上達が早いということで今ヒアリングとかスピーキングが強調されるのはまさにそういった理由なんですけど、ここで彼は「正則」を重視し『日英会話

編』という、これも上海の長老派の印刷所で刷ったものですけども、それを持ち込んで配布します。私は現物を見ましたけれども、用例集です。こういう時にはこういうふうに答えるといいという用例集ですけど、それを覚えれば英語がかなり自由に使えるようになったと思われま。

そしてブラウンがですね、1873年に修文館の任期が終わりまして、押川らバラ塾から神学に関心を持つ教え子たちと横浜山手居留地211番の自宅でブラウン塾を立ち上げます。この山手211番には「日本聖書翻訳発祥の地」という碑が建っております。今は横浜共立学園のキャンパスになっています。

中国でのブラウンの考え方は、中国伝道は中国人の手でという自立を説くものでありまして。おそらく彼は日本伝道は日本人の手でやったらいいということをやっていたんだと思います。押川は日本の独立というものを考えて、このような考え方に共鳴して牧師への道を志すようになりました。

バラ塾もブラウン塾も神学塾として、単なる英学塾ではなくて、神学塾として位置づけることができるわけでありま。

さて、押川の前半生と横浜での出来事が大体お分かりになったと思いますけれども、横浜バンドって一体何なんだろうということ(スライド14)。



13

ブラウン塾

- ・サミュエル・ロビンズ・ブラウンは、アメリカ・オランダ改革派教会派遣駐日宣教師
- ・マカオで8年半に及ぶ英語教育の経験があり(モリソン記念学校長)、英語教育は、段階を踏んで教えなければならぬという教育方針をもつ
- ・正則(発音)を重視、『日英会話編』(1863)は実用会話の用例集
- ・1873(M7)年横浜修文館の任期の契約切れを機に、方彦らバラ塾から神学に関心を持つ教え子たちと横浜山手居留地211番の自宅で、ブラウン塾を立ち上げる
- ・中国でのブラウンの考え方は、「中国のキリスト教伝道は中国人の手で」という自立を説くものであり、方彦ら初期の日本人キリスト者を鼓動した



14

横浜バンドとは

- ・方彦ら「願望」の改名を差せられた佐幕派出身の青年たちは、幕府の藩閥政治に対抗して、英語による新日本建設を目指した(「英語青年」)
- ・ブラウン塾からは、東北学院創立者押川の甥、東京神学塾を設立し、改進黨を創設した方彦らと、明治神学塾創立者山手居留地211番の自宅で、方彦ら「願望」の改名を差せられた佐幕派出身の青年たちは、幕府の藩閥政治に対抗して、英語による新日本建設を目指した(「英語青年」)
- ・方彦ら「願望」の改名を差せられた佐幕派出身の青年たちは、幕府の藩閥政治に対抗して、英語による新日本建設を目指した(「英語青年」)

押川ら賊軍の汚名を着せられた佐幕派出身の青年たちは、薩長の藩閥政治に対抗して、英語による新日本建設を目指しました。

「英語青年」という言葉は、明治期から盛んに使われておりますけれども、そういう雑誌もございました。

ブラウン塾からは、東北学院創立者押川の他、東京神学社を設立し、改革長老派教会の流れをくむ日本基督教会の重鎮植村正久（旗本）、明治学院総理井深梶之助（会津藩）、青山学院院長本多庸一（弘前藩）。専修大創立者の1人駒井重格（桑名藩）ら、いわゆる幕府側に与した藩から青年たちが集まってきて、主にキリスト教会の牧師や学校の創立者になりました。

それから他にもいろんなバンドがあります。弘前には弘前バンドっていうのがありますし、静岡には静岡バンドってありますけれども、三大バンドと言われているのであれば、札幌農学校です。北大の前身ですけども、内村鑑三ら預言者的な性格をもつ無教会派の信徒を輩出しました。次に熊本バンドであります。同志社へ移ることになる青年たちからなる熊本英学校からは教会指導者のみならず、政治家や徳富蘇峰ら政治評論家等も輩出しています。

じゃあなぜこれらの青年たちが、愛国者であるのに外国の宗教に心を許したか、それよりもむしろ広めようというところまで進んでいったのかという点について考えてみたいんですけども、残念ながら押川方義の中にははっきりとしたそういう記述ではございませんけれども、会津藩出身の井深梶之助っていう人にはそういう記述がございます。

ある日ですね、友人である横浜バンドの篠崎という青年と一緒に歩いていた時、彼は幕臣の子供でしたけれども、井深にこう言ったそうです。徳川幕府が崩壊したのは天の聖旨だったね、要するに天の定めだったねという風に言ったのです。本当に何を言ってるんだと、自分が会津藩主の小姓をやっていたことをこいつは知っているのかと思うぐらいなことを平気で言われたということでもあります。

この言葉に、彼は煩悶し続けました。なぜならキリスト教の聖書の中にはですね、非常に大事な言葉なんですけど、汝らの敵を愛し、汝らを責める者のために祈れということが書かれているんです。山上の垂訓と言われる言葉ですけども、マタイ5章の44節です。これを洗礼を受ける時には受け入れなきゃいけない。本当に憎くて憎くて自分の、しかもですね、この井深はですね、小姓だったし、家老西郷頼母という重臣の甥子だったわけですから、自分の親戚がですね、あの会津戦争の時に自決して、そしてまた、自分の殿様である松平容保が哀れな格好で、薩摩の侍に降伏を願い出た、その姿を知っているわけです。それをも、あの彼らをも受け入れなきゃいけないのかということが、実は彼の課題の中にずっとあってですね、クリスチャンになる決心をして受け入れていったのです。

おそらくですね、当時の言葉で言えば、「君辱めらる時臣死する」ということを教えられてきた、その教えをですね、打ち破って、右の頬を打たれても左の頬を出せという教えに従うということを、彼らの中で了解していかなきゃいけなかった。そのプロセス

がまさにこの横浜バンドの青年たちの中にそれぞれに共有されていたんだと。お互いに英学を学び、キリスト教に近づくことによって、新しい日本を作っていくという考え方を研ぎ澄ましていった。これが横浜バンドに集まった青年たちの一つの特色ではなかったかと考えることができるのです。

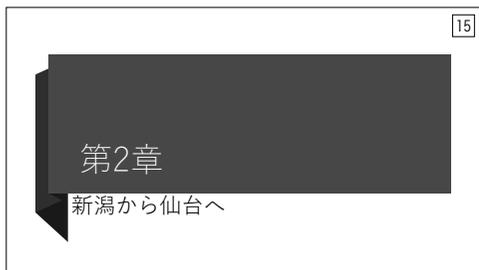
ここに写真が出ていますがけれども、押川の他に、奥野、これは賛美歌を作曲したりして和歌に長けていた人物でございます。先ほどの日本基督教会の重鎮である植村、それから明治学院総理の井深、明治学院事務長の熊野、こういった人たちが、横浜バンドの青年たちであって、他にも青山学院院長の本多庸一がいたということです。

本学の青山学院大学定期戦のポスターに書いてある文章には、押川院長の横浜青年時代に青山学院の院長と仲が良かったためと書いてあるんですけれども、あながち間違いではなかったということでもあります。

さて第2章でございます（スライド15）。

この横浜バンドで学びを深め、考え方を研ぎ澄ましていた押川でありますけれども、ついに横浜公会の青年長老をやめてからですね、実社会に出る機会が到来しました。これは、彼が新潟の伝道に旅立つということでもあります（スライド16）。どのよ

うな契機でそういうことになったのかというと、エディンバラ医療宣教会の宣教師セオボールド・パームという人が来日しました。エディンバラ医療宣教会というのは、全世界に800人ほどの医師を派遣していた、今で言えば国境なき医師団のようなものでありまして、アジアでも、日本にパームが派遣されてきたということです。それで、当初はヘボンのもとへ転がり込んで、どこに行ったらいいのかということで、五港開港のひとつでもある新潟に行ったらどうかと。何せ新潟は「本願寺の金庫」とも言われている仏教王国でありまして、反発が強くなかなか伝道が進まないところであったということでもあります。パームはそこに医療宣教師として行くことにしました。ツツガムシ病という言葉聞いた事がある人も居るかも知れませんが、有毒ダニの幼虫に媒介されるこの新潟の風土病を発見した人物としても有名です。そのような人がですね、伝道に行く、まあパーム自体は身体が大きな人でしたから安心だったんですけど、一緒に行った横浜バンドの雨森信成という人が、拉致されるという事件が起きて、自分はもうあんなところコリゴリだ、あんなところで伝道したら命がもたないということで、命からがら横浜に帰ってまいりました。



パームは早速ブラウン先生に、他に誰か若いので、元気のいいのがないのかと捜し求めたんですけど、みんな下向いて、誰も行こうとしない。その時に押川方義が「然らば我輩が行くべし」ということを言ったのであります。

押川方義の写真を見てもそんなにがたいがいいわけでもなさそうなんですけれども、青年長老でもあって、責任感の強い人物だったと思いますけれども、「然らば我輩が行くべし」ということで、敵地ではありませんが、新潟に乗り込んでいくということになります。押川が行ってからですね、こんな事件がありました。押川の顔に似た県庁職員が惨殺されるという事件があったんですね。要するに狙われた、そういう場所だったわけです。ただ、彼は平気で、「火の玉」説教、火の出るような説教と言われますから非常に感動的な説教をして、新潟伝道を成功させます。

パームはですね、医者でもありましたから、「パーム先生が耶蘇じゃなかったらいいのにな」なんて当時の人びとに言われたんですけども、医者としても活躍し、「パンの医者」ということで親しまれました。押川もパームの本を翻訳し、二人が協力して1880年までに、88人がパームより受洗

したということです。新潟県内でも各地に伝道しました（スライド17）。

1880年の8月にですね、新潟大火というのがありまして、港町はどこでもそうですけれども、狭いところにですね、建物が密集しますので、風向きによっては、あっという間に街が焼けてしまいます。パームの診療所も焼け出されてしまいました。ここでパームは決断をいたします。

新潟に居てもしょうがないから、押川とその助手の吉田亀太郎はですね、吉田亀太郎とはどういう人かといいますと、新潟に石油、いわゆる「臭水」、それを採りに、新潟に油田がありましたので、そこに調査に行った人ですけども、その人の田舎がですね、彼は花巻出身で石巻育ちという人でして、彼の実家の方の仙台に行けばですね、伝道戦線が広がるということになりました。実際、当時新潟は3万8千人、仙台は6万人か7万人おりましたので、仙台の方が東北各県をまとめる、仙台の方が伝道地にふさわしいだろう、日本海でなく太平洋側なので雪も降らないということもありまして、新潟伝道を重ねていた2人は、仙台に伝道の拠点移します。「新潟バンド」とも言われていましたけど、この二人が仙台にやってきたのです。

パームは1883年に帰国しますが、父



17 新潟伝道は成果を収めるも仙台へ

- パームは「パンの医者」として親しまれ、方義もパーム編『偶條非神論』を翻訳し、1880年までに88人がパームより受洗した
- 1880年8月の新潟大火によりパームの診療所が消失。パームは、方義に石油開発のために新潟に来ていた吉田亀太郎と一緒に吉田の故郷仙台に伝道の拠点を移すことを許可
- パームは1883年に帰国するが、父親が教会するロッテルダムのスウェーデン教会に依頼して、方義を財政的に援助した



18 アメリカ・ドイツ改革教会派遣宣教師

- 1873年の「キリタン禁令の高札」の撤去により、多くの海外宣教師団体が上陸
- 信教の自由の地ペンシルヴァニア州ランカスター市に拠点を置くドイツ語圏からの移民のアメリカ・ドイツ改革教会は、1879（M12）年、グリング夫妻を駐日宣教師として派遣
- 人口の多い京阪・阪神地区は他教派宣教師によって「古地清み」。アメリカ・オランダ改革教会より20年遅れる

親が牧師をしております、ロッテルダムのスコットランド人教会の牧師でしたものですから、そこの教会で集まる献金をパームに渡すということで、パームは無教派主義を貫くことができ、新潟でも東北でも伝道していました。

その仙台にですね、やってきたのは、先ほど申しましたアメリカ・ドイツ改革派教会宣教師たちでありまして、1873年の「キリシタン禁令の高札」の撤去の後に、多くの海外伝道団体と一緒に来日しました（スライド18）。

20から40の宣教団体と言われてますけれども、それくらいやってきました。信教の自由の地ペンシルヴァニア州にあるランカスター市に拠点を置くドイツ語系移民のアメリカ・ドイツ改革派教会は、1879年、グリング夫妻を駐日宣教師として派遣しました。これはグリング夫妻とお子様たちの写真です。彼らが来日した時はですね、すでに人口の多い京浜、阪神地区は他教派宣教師によって「占領済み」ということでした。宣教師は軍事用語をそうやって使いますけども、アメリカ・オランダ改革派教会からなんと20年遅れでやってきたということでもあります。伝道しようにもですね、場所がないということでもあります。

それでですね、そのあと、この教派はモール宣教師夫妻も派遣しました。しかしモールと初代のグリングの間でも、宣教をどう組織的にやっていくのかという戦略的な方策がなくて、せいぜい仙台に女学校を作ろうということがあったという程度でした。そしてある日、この女学校を作る計画があってですね、仙台神学校設立のちょうど一年前、グリングが自ら住む築地居留地、この頃はもう横浜のみならず、築地にも居留地がありましたけれども、そこにですね、バラ塾、ブラウン塾の後身になる東京一致神学校、これがその写真（スライド19）ですけど、その構内でバラに出くわします。私の教派では女学校を作りたいんだけどどこかいいところありますかと言ったら、バラがですね、早速ですね、今仙台から押川という牧師がちょうど東京に滞在中とのことで、彼の居場所を2人で訪ねて行って相談したそうです。押川は仙台では、男子校と女子校を仙台の有力者たちが望んでいるという提案をこのグリングにしたんですけども、残念ながらこの話は実を結ばなかったということになります。

ホーイです（スライド20）。

1885年12月に来日したホーイ、5月に仙台神学校ができますので、東北学院がで

東京一致神学校でバラが仲介 19



- また同派派遣2人目の宣教師モール夫妻との間にも、戦略的、組織的な宣教師針はなく、女学校を設立したいという意向だけがあった
- 仙台神学校設立の丁度1年前、グリングが自ら住む築地居留地を散歩していたところ、バラ塾・ブラウン塾の後身である東京一致神学校（写真）においてバラと出くわし、女学校について相談。バラとグリングは、上京中の方義の宿泊先を訪ねた。
- 方義は、男子校・女子校を仙台の有力者が望んでいると提案したが、日の目を見なかった

ホーイの
来日と押川との
出会い 20



- 1885年12月に来日したホーイは、来日3日目にバラの自宅の方義との劇的な出会いを果たす。
- 「どうやってマリア州に連れて来てわたしたちを助けてください」（使徒行伝16:9）
- その5か月後に仙台神学校はより設立
- 写真は、ホーイ一家。夫人は常盤学院を設立した女性宣教師オールド

きる半年前です。来日直後の3日目に、バラはホーイを押川に会わせませす。劇的な出会いでした。

使徒行伝にこういう幻があるんですけども、「どうかマケドニア州に渡ってきて私たちを助けてください」という言葉があります。このマケドニア州を仙台に置き換えるとよく分かると思います。その言葉を押川はホーイに投げかけた。

そしてその5ヶ月後、若いホーイは自腹で5人の神学生、6人もかもしれません、7人もかもしれませんけれども、引き受けるということになって、仙台神学校はできたのです。

ホーイ一家の写真がありますけれども、奥さんはですね、宮城学院を設立した女性宣教師のオールドでありまして、宮城学院、東北学院の宣教師同士が結婚しておりますけれども、こうして仙台神学校は日の目を見たということにもなってくるわけでありませす。

さて、最後にまとめませす (スライド21)。

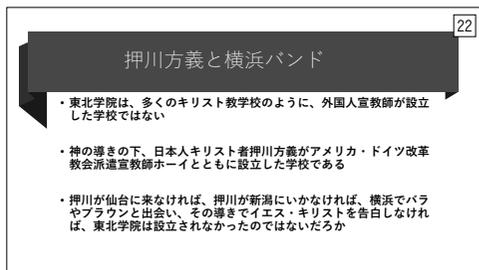
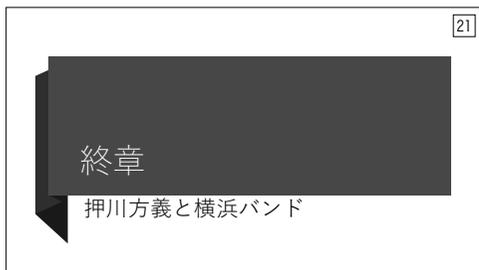
押川方義と横浜バンドというテーマで話しをしてきましたけども、何が言えるのかということ、東北学院は、私も歴史を調べたら違ふなと思ったのは、多くのキリスト教学校のように、外国人宣教師が設立した学

校ではありません (スライド22)。

これは明らかに日本人伝道者押川方義のイニシアティブのもとに、要請されて、それに外国人宣教師が一緒になって創ったという学校であります。始めからどこかの教派が来て学校を創ったということではないということです。神の導きのもと、日本人キリスト者押川方義が、アメリカ・ドイツ改革派教会派遣宣教師ホーイとともに設立した学校であるということでありませす。設立者である、校祖は3人おりますけれども、日本人も入っているということになります。押川が仙台に来なければ、押川が新潟に行かなければ、横浜でバラやブラウンと出会わなければ、その導きでイエス・キリストを告白しなければ、東北学院は、歴史に「タラ、レバ」は禁物ですけども、できなかったのではなかったかということになるわけでありませす。

東北学院のですね、出自を探求する意味でもですね、押川方義という人に焦点を当てて考えてみれば、こういった歴史が本学の始まりにはあったということをお私たちは覚えていきたいと思ひませす。

私たちはですね、やはり外国人宣教師が日本にかけた、そういった伝道の使命を持った学校でもあります。またそこに日本人が協働して明らかに仙台において優位性



を保つ、これはもう仙台のみならず北日本において、由緒を保ってきた学校であります。この伝統をですね大切にそしてさらに発展させていくこと、このことを共に目指していきたいと思います。

簡単ではありますが、本日の講演はこれで終わります。

ご静聴ありがとうございました。

「東北学院の40年」

東北学院史資料センター 日野 哲

東北学院史資料センターの日野です。

今からご覧いただきます創立40周年記念映画の制作過程について、簡単にご紹介したいと思います。

今から96年前、東北学院は創立40周年を迎えました。1926(大正15)年の10月です。ちょうど専門部校舎、現在の土樋キャンパス本館が建設されたことから、その落成式に合わせて創立記念式典が行われました。この式典には東京から押川方義、そして中国からホーイが参列することとなり、三校祖が揃うということから東京同窓会の発案でこの記念映画の制作が持ち上がりました。しかし撮影してみると当日は雨のためにフィルムが十分に感光されていないということ、そのうえ資金が十分に集まらなかったということから、完成できずにそのまま撮影者(長野県在住の同窓生鈴木三郎氏)の手元に残されることになりました。その後30年ごとに、様々な出来事が起こります。

撮影から30年後の創立70周年、この時に東北学院はこのフィルムを記念事業の一環として買い取ります。しかしそのまま保存されることとなります。

さらに30年後と言いますと創立100周年です。100周年の記念行事もほぼ終えた秋頃でしたが、現在の総務課の倉庫、今給湯室になっているあたりでしょうか、あの辺にあった倉庫からこのフィルムが発見されました。

そして当時企画されていた100周年記念映画の中に「三校祖の歩く姿」が収録されることになりました。同時に、このフィルムは元々35ミリのネガフィルム(9本)でしたが、この100周年の一環として16ミリのポジフィルム、私たちが見れるような状態の1本に編集されました。当時の長さは約45分間でした。

それから30年後、東北学院は創立130年を迎えますが、当史資料センターでは公開シンポジウムを行いました。タイトルは「歩く三校祖」。この時にこの45分のフィルムが上映され、当日は志子田光雄名誉教授が解説をされました。

創立130周年を迎えた2016(平成28)年から、東北学院大学は文科省の「私立大学研究ブランディング事業」に採択されましたが、その事業の一環としてこのフィルムの4Kデジタル化が進められました。そして見てみると非常に鮮明な画像が得られたということから、



昨年の2020年の事業として40周年の記念映画の制作が行われたということになります。長さは当時の約半分の23分程度です。

画面には適宜場所や人物の名前などの説明を書き入れました。さらにフィルムの冒頭には創立から40周年までの校舎の変遷も入れてあります。ナレーションはプロのナレーターで本学の卒業生の松浦貴広さんという方です。全編に流れるオルガンの演奏は今井奈緒子先生のご協力をいただきました。他の協力者、制作スタッフにつきましては、エンドロールに名前を挙げて感謝の意を表しております。

それではご覧いただきたいと思います。

仙台市は明治期後半から大正期にかけて大きく発展する。大正15年当時の人口は14万人。

第一次世界大戦以降、日本の経済発展による豊かな中間層の形成や、大正デモクラシーによる民主主義的思潮の高まりは、東北学院の発展を後押しした。

創立者押川とホーイが相次いで東北学院を去った後、第二代院長に就任したシュネーダーは教育者としてまた学校経営者として優れた能力を発揮した。

こうして東北学院は法令に基づく公的な教育機関として国の認可を得、更なる発展の道を歩むことになるのである。



明治19年、市内中心部から北西に外れた北六番丁・木町通り角の借家で始められた小さな私塾は、「仙台神学校」と命名され、翌年中心部の東二番丁・南町通り角にあった本願寺別院跡を取得してここに移転する。

明治21年、ホーイはその敷地の一部に教室と寄宿舎を兼ねたジョン・オールド記念館を建設した。さらに3年後の明治24年には、その隣に壮麗な仙台神学校校舎が完成。校名を「東北学院」と改称し、一般教育も行うようになった。



シュネーダーは、増加の一途をたどる生徒を受け入れるため、明治38年、東二番丁に普通科校舎を建設。翌年には寄宿舎も完成した。一方、専門部の校舎建設も進められ、南六軒丁では大正15年の創立40周年を機に新校舎の落成式が行われたのである。

市内南町通りにあった東北学院神学部校舎。赤レンガ造りでカレッジ・ゴシック様式、2階建ての校舎は、その壮麗さから当時の仙台市民の賞賛の的となり、昭和20年7月の仙台空襲で焼失するまで、仙台で最も美しい建物の一つとして知られていた。



校舎の東隣には、押川方義が創立した仙台教会、現在の仙台東一番丁教会の礼拝堂が建設され、西隣にはホーイが妻メアリの父の遺産を投じて建設した「ジョン・オールト記念館」があり、寄宿舎兼教室として利用された。東二番丁の普通科は、その後中学部と改称されたが、大正8年の仙台大火により、その壮麗な校舎と寄宿舎は全焼。



3年後の大正11年には、同じ土台の上に鉄筋コンクリート、レンガ張りの校舎が再建された。

通常「赤レンガ校舎」と呼ばれた校舎正面には、その後東北学院のスクール・モットーとなった「LIFE LIGHT LOVE」の三文字が刻まれ、その堅牢さから戦時下の空襲にも耐え抜き、昭和54年に取り壊されるまでおよそ60年にわたり、東北学院のシンボルとして立ち続けたのである。

市内東部の東八番丁には、働きながら学ぶ学生・生徒のための労働会塾舎が建設されたが、創立40周年当時はその30年の歴史に幕を閉じ、一般学生の寄宿舎として利用されていた。



シュネーダーは、専門部校舎を建設するため、南六軒丁の用地を大正5年に取得していた。しかし、火災により全焼した中学部校舎の再建を優先せざるを得なかったため、大幅に延期されていたのである。

完成した専門部校舎はアメリカ人建築家モーガンの設計によるもので、カレッジ・ゴシック様式の中世の城郭を思わせる堅牢な建物であった。

この後、南六軒丁の校地にはシュネーダーの構想に基づき、礼拝堂や図書館が建築されていく。



新校舎の屋上からは、仙台市街を見渡すことができた。

当時の仙台市は近代都市として大きく発展する時期であった。人口増加に対応して上下水道や交通網の整備が進み、政治、経済、教育などのさまざまな分野で、仙台は宮城県のみならず東北の中心都市としての役割を担って行くこととなった。

また多くの樹木と広瀬川の流れにより市街地に静寂が保たれていた環境は、明治期から“杜の都”と呼ばれ、勉学にふさわしい町として全国から学生や教員が集う学都を形成していた。

そんな中でシュネーダーは建学以来の人格教育をさらに推し進めるため、社会情勢の変化や国の法令に適切に対応しながら組織や制度の改革を行い、多くの生徒や学生を集めて東北学院の教育に対する社会的評価を高めていった。

東北学院は南町通りに神学部、東二番丁に中学部、そして南六軒丁には専門部を設置して市内に3キャンパス体制を確立していく。

創立40周年記念式典はこうした東北学院の発展を内外に示す場となった。



一日目

大正15年10月16日。新校舎屋上で予定していた創立40周年記念式並びに専門部校舎落成式は、前日の夜から降り出した雨のため、急遽東二番丁の中学部講堂に式場を変更して行われた。



この式典には東京から押川方義、中国からホーイが参列し、押川、ホーイ、シュネーダーの三人の校祖が25年ぶりに顔を揃える機会となった。

押川は、2年前に衆議院議員としての活動を終え、ホーイも25年にわたる中国伝道から引退しようとしていた時期であった。

また、明治16年にドイツ改革派教会から2番目に派遣され、長く東北・北関東の伝道に貢献したベテラン宣教師のモールも、娘を伴って来日。外国伝道局からは局長のクライツ博士夫妻、同じく婦人伝道会長のアネワルドなど、アメリカのドイツ改革派教会を代表する多数の来賓が参列した。



午前9時からの学内関係者を対象にした創立記念式では、押川とホーイの創立者が相次いで演説を行った。当時76歳を迎えていた押川は、体を激しく震わせながら、横浜でキリスト教と出会った経緯や創立当初の神学校の様子を熱く語り、聴衆の涙と感動を誘った。



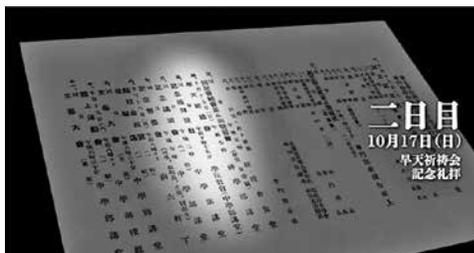
午後2時から、一般来賓対象の創立記念式並びに新校舎落成式が行われた。シュネーダー院長のあいさつに続き、文部大臣岡田良平、宮城県知事上田萬平、仙台市長鹿又武三郎をはじめ、国内外の多数の来賓から祝辞が述べられ、また東京在住の伊達興宗伯爵や朝鮮総督齋藤實（まこと）子爵などからの祝電も披露された。当日は豪雨と悪路の中、多数の来賓が殺到し、中学部講堂は立錫の余地もなかったと記録されている。

二日目

2日目の日曜日は、午前7時から神学部講堂での早天祈祷会から始められた。創立後間もない明治24年に建築された神学部校舎は、三人にとって思い出深い校舎であり、ここに立つのは実に25年ぶりのことであった。

ホーイは翌年2月に中国からアメリカに帰国の途中に死去、押川もまたその翌昭和3年1月に死去した。以後三人の創立者が再びこの地上で相まみえることはなかったのである。

午前10時過ぎからは、場所を中学部講堂に移して記念礼拝が行われた。外国伝道局長のクライツが「更新」と題して説教を行い、当時中学部長であった五十嵐正が通訳を務めた。



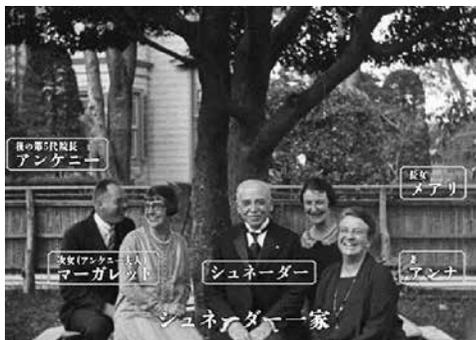
当時、シュネーダー院長夫妻の住居は、中学部校舎と道路を挟んだ東三番丁の宣教師館であった。記念礼拝を終えて帰宅したシュネーダー夫妻は、海外からの招待者と共に歓談の時間を過ごした。

シュネーダー夫人は協力者布施豊世とともに、持ち前の明るさと愛嬌で婦人たちをもてなし、自ら庭のイチジクを試食してみせた。





クライツ博士夫妻



後の第5代院長
アンケニー

長女
メアリ

次女(アンケニー夫人)
マーガレット

シュネーダー

三ツアンナ

シュネーダー一家

ドイツ改革派教会の外国伝道局長として初めて来日したクライツ博士夫妻。シュネーダー夫妻も長女メアリ、次女マーガレット、その夫で後に第5代院長となるアンケニーとともに記念撮影に応じた。

長女メアリは、当時宮城女学校の音楽教師であったが、8年後の昭和9年に若くして亡くなる。そして同じ年の秋、シュネーダーは社会情勢の変化により、学内外に多くの問題を抱えて院長辞任を申し出ることとなる。この創立40周年はシュネーダー一家にとって最良の時であった。



三ツアンナ

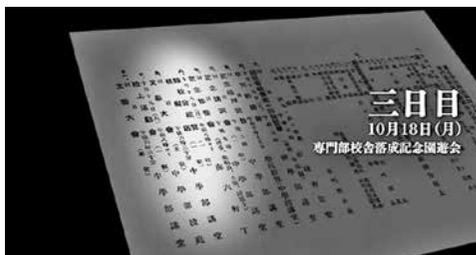
シュネーダー

長女
メアリ

シュネーダー夫妻の胸に花をつける長女メアリ

三日目

3日目は、午前8時から専門部の新校舎が一般市民に開放された。構内はまだ建物はほとんどなく、鬱蒼とした樹木に覆われていた。新校舎には日の丸が掲げられ、多くの市民が見学を訪れた。



三日目
10月18日(月)
専門部校舎落成記念催し



グラウンドから見た校舎

校舎建築には巨額の資金が必要であったため、シュネーダー夫妻は今回もおよそ1年半にわたってアメリカ各地を巡回して募金活動を行った。

日本国内では卒業生や教職員のほか、住友、三井、三菱などの財閥や、渋沢栄一、後藤新平、大倉喜七郎、安田善次郎、古川虎之助、本山彦一、村山龍平など、政財界の著名人もこぞって募金に応じた。

こうして国内外からの多額の寄付により、延べ600坪の専門部新校舎はおよそ1年の工事の後完成したのである。会場にはシュネーダーの巨大な人形も飾られ、シュネーダーへの感謝と敬意を表した。



校舎南側のグラウンドには、おでんや汁粉、団子などを売る多数の模擬店や演芸場の舞台が設けられ、子どもを連れた多くの市民でにぎわっていた。一般市民に混じって角帽姿の専門部学生や丸帽の中学部生徒、さらに軍人や外国人家族の姿も見られた。



グラウンドの演芸場舞台



外国人来場者

四日目

4日目は、中学部の校庭で記念運動会が行われた。運動会は、あまり娯楽のない当時の一大イベントであった。

障害物競走やリレー競技、相撲大会など多彩な種目が設けられ、観戦した来賓や近隣の住民は、中学部生徒とともに秋の一日を楽しんだのである。



賞品を渡す本部のテントには、院長のシュネーダーをはじめ、来賓の押川方義、専門部長の出村悌三郎、中学部長の五十嵐正などの顔が見える。

運動会には、当時の教職員がそろって観戦に訪れた。長く事務局を支えた津田郁などの職員に加え、後に商科の科長となる津久井善四郎、当時は新任教員で戦後中学校高等学校長となる月浦利雄、神学部の伊藤嘉吉など各教育部門で尽力した多くの教員たちや宣教師、配属将校の顔も見える。他にも東北学院の理科教育を支えた毛呂圓策と酒井原熊治、神学部の郡山源四郎、矢野猪三郎、東北の教会の歴史編纂にも貢献した清水東四郎、出村剛は戦後第4代院長を務めることになる。



相撲大会



押川方義

シュネーダー

本部テントでの賞品渡し



中学部長
五十嵐正

専門部長
出村悌三郎



上山彦太郎

シュネーダー

文武両道を掲げる東北学院は、この時期スポーツの面でも輝かしい成績を残している。中学部は大正14年の北日本中等学校選抜野球大会で優勝。



北日本中等学校野球大会
優勝



高等専門学校柔道大会
三年連続制覇

専門部は東北帝国大学主催高等専門学校柔道大会で、大正13年の第1回大会から第3回大会まで連続優勝。圧倒的強さで、翌年の第4回からは出場を拒否され、優勝旗は現在も本学が所有している。

東北学院の校旗は、明るいブルーの地の中央に校章を刺繍したものである。

ブルーの地色は真実を、周囲の銀のモールは純潔を表し、旗竿の先端には文化を象徴するたいまつが輝いている。中央の校章は金色の十字架の上にT Gの文字を銀色で表し、十字架の犠牲の上に立つ東北学院を象徴している。創立40周年を迎えた東北学院は、この十字架の旗を掲げながら、さらに前進を続けて行くのである。



「東北学院の建学の精神とキリスト教活動」

東北学院大学 宗教部長 野村 信

【第1部】「建学の精神」について

ただいまから「東北学院の建学の精神とキリスト教活動」と題してお話し申し上げます。今回申し上げたいことは、本学の「建学の精神」や「教育の基本方針」について、その成立の意図や過程をご紹介します、これらについて理解を深めていただければ幸いに存じます。また最後に少し現在のキリスト教の活動についても触れたいと思います。

最初にスライド2で、「東北学院の礎を築いた三校祖」について確認をします。特に、W・E・ホーイ先生とD・B・シュネーダー先生は、ドイツ改革派教会から派遣された宣教師ですが、このドイツ改革派について触れておきます。後ほど、「建学の精神」の文章の中に「宗教改革の福音主義キリスト教」という言葉が出てきますが、これに関連するところです。

アメリカにおける「ドイツ改革派教会」とは、そもそもアメリカは移民の国ですが、東海岸の北部に、ブリティッシュ・アメリ

カン、ダッチ・アメリカン、そしてやや南にジャーマン・アメリカンが広がったわけです。そしてこの南に広がったドイツ系の人々の中から、二人の宣教師が仙台に来られ本学の礎とられました。

当時、ドイツと共に、ボヘミア（今日のチェコ）にフス派の人々などいくつかのキリスト教の群れがあり、スイスのドイツ語圏にも小さな群れがあり、この人々がアメリカに渡ってきます。ドイツはそもそもルター派の人々が多い国ですが、カルヴァン派とよばれる、いわゆる改革派の人々もいました。この人々はアメリカで共同体を組織して「ドイツ改革派」と呼ばれるようになりましたが、それはある意味当然のことで、すなわち、ルター派とカルヴァン派が混ざったような状況にあり、そこで、「米国ドイツ改革派」とは、「ドイツ、ボヘミア、スイス一帯から、18世紀に主にペンシルベニア州へ移住したルター派と共同する広義の改革派系の人々」という説明ができます。

1

東北学院の建学の精神 と キリスト教活動

第65回 東北学院大学
教職員夏期修養会
講演Ⅱ
2021年8月30日(月)

2

第1部 建学の精神について

東北学院の礎を築いた三校祖

初代校長	初代副校長	二代校長
押川方義	W・E・ホーイ	D・B・シュネーダー
(1855-1923)	(1808-1927)	(1857-1920)

〈ドイツ改革派教会〉
ドイツ、ボヘミア、スイス一帯から、18世紀に主にペンシルベニア州へ移住した「ルター派と共同する広義の改革派系の人々」。彼らは、聖書と初期には『ハイデルベルグ信仰問答』を大切にしました。

これは、後ほど、東北学院のキリスト教の流れにもなるわけです。すなわち、ルター的、カルヴァンの、総じて「宗教改革の福音主義キリスト教」という表現に至ります。『ハイデルベルグ信仰問答書』というのは、ドイツにおいて改革派系の人々が起草した易しい信仰問答書で、これをアメリカのドイツ語系の人々が使ったのも納得のいくところ です。

さて3番目のスライドですが、戦後、昭和24年に東北学院専門学校から正式に東北学院という新制大学に昇格した時に定められたのが「東北学院学則」であります。その第一条は、次のように記されており、本学の教職員の方々はデスクネットから誰でも読めるようになっています。

第1条 東北学院大学（以下「本学」という。）は、キリスト教による人格教育を基礎として、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、もって世界文化の創造と人類の福祉に寄与することを目的とする。

これを文部省に提出することで、本学は正式に政府の承認を得た学校となりました。

ここに、スライド4で示しましたように、第一番目に、本学の教育方針がキリスト教による人格教育であることが明記されています。続いて「一般・専門教育による知力と徳育の成長」が謳われ、第三番目に「世界文化の創造と人類の福祉への寄与」を目的とすると、東北学院の教育の方針が定められました。

このような教育方針をもって本学は進ん

でまいりましたが、1996年に「東北学院の建学の精神」を制定するわけです。スライド5をご覧ください。お読みしますと、「東北学院の三校祖、押川方義、W・E・ホーイ、D・B・シュネーダーは、東北学院の建学の精神を、宗教改革の『福音主義キリスト教』の信仰に基づく『個人の尊厳の重視と人格の完成』の教育にあるとした。その教育は、聖書の示す神に対する畏敬の念とイエス・キリストにならう隣人への愛の精神を培い、文化の発展と福祉に貢献する人材の

3

〔1〕 東北学院大学学則

(昭和24年4月1日制定第1号)

第1章 総則

(目的)

第1条 東北学院大学(以下「本学」という。)は、キリスト教による人格教育を基礎として、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、もって世界文化の創造と人類の福祉に寄与することを目的とする。

4

【第1条】 東北学院大学(以下「本学」という。)は、キリスト教による人格教育を基礎として、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、もって世界文化の創造と人類の福祉に寄与することを目的とする。

【要点】

- 1、キリスト教による人格教育を施すことが基本。
- 2、一般・専門教育による知力と徳育の成長。
- 3、世界文化の創造と人類の福祉への寄与。

5

〔2〕 【東北学院の建学の精神】

東北学院の三校祖、押川方義、W・E・ホーイ、D・B・シュネーダーは、東北学院の建学の精神を、宗教改革の「福音主義キリスト教」の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育にあるとした。

その教育は、聖書の示す神に対する畏敬の念とイエス・キリストにならう隣人への愛の精神を培い、文化の発展と福祉に貢献する人材の育成を目指すものである。

平成8(1996)年5月28日東北学院理事会決定
平成22(2010)年3月4日東北学院理事会一部修正

育成を目指すものである。」と記されます。

ここには、大きな拘りがあります。すなわち「宗教改革の『福音主義キリスト教』の信仰に基づく」という言葉です。これは、実は、この前年に本学の第3代学長となりました倉松功先生の願いが実現したものとと言えます。後ほど、この制定へ至る経緯については述べさせていただきますが、この時期に日本のキリスト教主義学校が次々と建学の精神を明確にするという方針を固めていきました。

本学の「建学の精神」の要点は、第6番目のスライドで示しましたように、第1に、宗教改革の「福音主義キリスト教」に基づく、という点です。学則ではキリスト教となっていたのですが、「建学の精神」では、16世紀の宗教改革の、しかも福音主義キリスト教に基づく、と、語ることによって、より明確に歴史観、出発点というものをここに謡っているわけです。

その内容としましては、第2の点ですが、個人の尊厳と人格の完成を目指す教育という点で、これは、①神への畏敬の念をもつことと、②隣人愛の精神を培う、ことによって養われると言われるわけです。そこに「敬神愛人」とありますように、創立後6年目にして、卒業生たちが記念として捧げたも

のがあり、すでに最初期からこの精神は学校の中に広がっていました。そして、第3に、文化の発展と福利に貢献する人材の育成ということが言われているわけです。要するに、学則第1条に、歴史的な視点を加えて、より明確な表現をとって「建学の精神」が定められたわけであります。

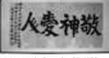
ところで、「福音主義」という言葉ができてきますが、「福音主義」とは何かということを第7のスライドで少し紹介をしておきます。福音とは、聖書が告げる救済論の中心を福音という言葉で、一言で表現しております。ローマの信徒への手紙第1章16、17節に、「わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです。福音には、神の義が啓示されていますが、それは、初めから終わりまで信仰を通して実現されるのです。『正しい者は信仰によって生きる』と書いてあるとおりです」とあります。ここには「福音」という言葉が3回出てきますが、これは、マルティン・ルターが、ヴィッテンベルクの修道院の中で、聖書の教授として聖書を丁寧に読み進めている中で再発見した言葉であり、聖書が告げる救いの原点であり、究極であります。

6

【東北学院の建学の精神】
東北学院の三校祖、神川方義、W・E・ホーイ、D・B・シュネーダーは、東北学院の建学の精神を、宗教改革の「福音主義キリスト教」の信仰に基づき「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育にあるとした。
その教育は、聖書の示す神に対する畏敬の念とイエス・キリストにならう隣人への愛の精神を培い、文化の発展と福祉に貢献する人材の育成を目指すものである。

【要点】

- 1、宗教改革の「福音主義キリスト教」に基づく
- 2、個人の尊厳と人格の完成を目指す教育。
 - ①神への畏敬の念をもつ
 - ②隣人愛の精神を培う
- 3、文化の発展と福祉に貢献する人材の育成


1892年(明治25年)の卒業記念(神学校の講堂に掲示)

7

わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです。福音には、神の義が啓示されていますが、それは、初めから終わりまで信仰を通して実現されるのです。『正しい者は信仰によって生きる』と書いてあるとおりです。
(ローマの信徒への手紙第1章 16・17節)

◆ルターが「福音の再発見」により、宗教改革へと動き出す出発点となった聖書の言葉

◆80歳のシュネーダー院長が、昭和11年に創立50周年記念を機に、この聖書の言葉、「我は福音を恥とせず」という趣の教説を行った。その言葉を掲げて全園に放送され、深い感銘を残した。

すなわち、イエス・キリストが十字架にかかって死に、復活されたことが、人類の救いのためになされたことであり、これを「福音」と呼び、人が信仰によって「福音」を受け入れることによって救いが実現すると聖書は語るわけです。

マルティン・ルターがこれまで悩んでいたことは、キリスト教における救済についてであり、善行、徳の高い生活、勤行、寄進とか、人間の行為における様々な救済手段が有効とされると教えられてきた中で、聖書には、キリストが罪深い人間のために十字架にかかって贖罪を実現し、これにより救いがもたらされたことを信じる信仰による救いが語られていることに気づいたのです。これが宗教改革の出発点になりました。16世紀から始まる宗教改革のこの理解を「福音主義」と呼ぶようになり、このキリスト教徒の群れをプロテスタントと称することになりました。

東北学院が「宗教改革の」という時、このルターの理解に沿ったキリスト教を語っています。この福音という言葉は、ちょうどシュネーダー院長が80歳で本院を退任される時、昭和11年の創立50周年の記念に、「我は福音を恥とせず」という題の説教を行って、これは日本中に知られたと言われ

ています。そういう点で、東北学院は一貫して福音主義キリスト教に立脚しており、この流れの中で教育を推し進めてきたことがよく分かるのではないかと考えています。

第8のスライドをご覧になると、2006年には、「東北学院の教育の基本方針」が定められまして、ここにまた「福音主義キリスト教」という言葉が出てきます。曰く、「東北学院は創立以来、本法人に所属する各教育機関において一般の教育・研究活動と共に福音主義キリスト教に基づく宗教教育を一貫して行ってきた。今後ともそれぞれの教育機関は、正規の学校行事としての礼拝と正課必修としてのキリスト教教育を不変のこととして実施していくものとする」と。これは2006年に定められましたが、先の「建学の精神」から10年後に制定されたわけです。これは12年間、学長、院長を務められました倉松功先生の念願の取り組みでした。先生のたつての願いが結実したのであります。

その成果について申し上げる前に、まずこの教育の基本方針の要点を確認しておきます（スライド9）。その第1が、本学は、福音主義キリスト教を基盤とする宗教教育実践の伝統を持つという点です。第2は、このことは「学校礼拝」と「キリスト教教育」

8
<p>【3】 東北学院教育の基本方針</p> <p>東北学院は創立以来、本法人に所属する各教育機関において一般の教育・研究活動と共に福音主義キリスト教に基づく宗教教育を一貫して行ってきた。</p> <p>今後ともそれぞれの教育機関は、正規の学校行事としての礼拝と正課必修としてのキリスト教教育を不変のこととして実施していくものとする。</p>
平成18(2006年)7月21日東北学院理事会決定

9
<p>【東北学院教育の基本方針】 東北学院は創立以来、本法人に所属する各教育機関において一般の教育・研究活動と共に福音主義キリスト教に基づく宗教教育を一貫して行ってきた。 今後ともそれぞれの教育機関は、正規の学校行事としての礼拝と正課必修としてのキリスト教教育を不変のこととして実施していくものとする。</p>
<p>1、本学は、福音主義キリスト教を基盤とする宗教教育実践の伝統を持つ。</p>
<p>2、それは「学校礼拝」と「キリスト教教育」によって具体化され、これからも変わることなく継続しなければならない。</p>

によって具体化され、これからも変わることなく実施しなければならない、という点です。

次にスライド10をご覧ください。この「東北学院教育の基本方針」は、どこに掲載されている文章かと申しますと、今私たちはデジタルでホームページから、「東北学院規程集」を見ることができますが、デジタル版には掲載されていない、紙媒体の規程集の、最初のページに掲載されているものです。そこには「東北学院建学の精神」と「東北学院教育の基本方針」の文章が掲載されています。意外に知られていないので、申し上げておきたいと思います。

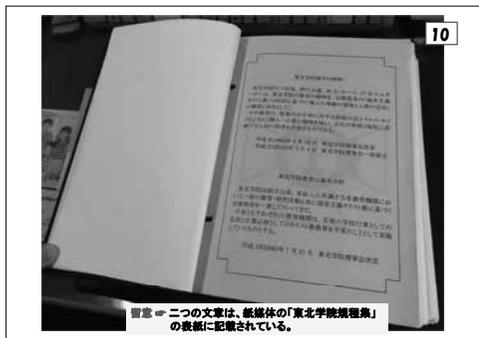
さて、スライド11ですが、本学の「建学の精神」と「教育の基本方針」の根幹をなす方針は、先に申しましたように倉松功先生の念願の課題であったのですが、それは、1984年に出版された著書『宗教改革、教育、キリスト教学校』に明記されています。「建学の精神」が制定される12年前の著書であります。すなわち、12年も前の著書の中でいずれ本学の「建学の精神」を定める時の方針として公表されていたわけです。ですから、学長になられて一年後に、この方針を実現されたこととなります。

一体、1984年とはどのような時であっ

たのかと申しますと、大学紛争のしこりが残っていた時であり、キリスト教会も大混乱した時期でもありました。そのような状況の中で、キリスト教学校はどうあるべきかを痛感され、「キリスト教学校の焦眉の諸問題」という題で明文化されています。この著書は本学の図書館に所蔵されていますので御覧いただくと良いかと思います。

比較的長文なので、今回要点をまとめさせていただきます。特に繰り返し言われていることは、要点の1にありますように、私学の独自性の維持が大切だということです。自由社会にこそ私立学校は存続し、私立学校が存立することが自由社会の指標であると言われていました。

続いて、著作の中で、文部省訓令第八号が、昭和20年公布されたことにより、特定宗派の教育が認可されたことの意義を語っています。そもそも1889年に公布された第12号において、学校教育においていかなる宗教行事も活動も行ってはならないと定められたものが、戦後は行ってよいという方向へ向かい、私立学校は建学の精神を明確にして教育方針を定めることが出来るようになったことを強調しています。この件については、院長・学長大西晴樹先生がキリスト教学校教育同盟の百年史において全



留意 ⇒ 二つの文章は、紙媒体の「東北学院規程集」の表紙に記載されている。

倉松功著『宗教改革、教育、キリスト教学校』聖文舎1984年
キリスト教学校の焦眉の諸問題(98頁～)

【要点】

1. 私学の独自性の維持の必要性…自由社会の礎(99頁)
2. 文部省訓令第八号(昭和20年公布)…特定宗派の教育の認可(100)
3. 学校の理事会が「建学の精神」を明確にする役割を有す。(101)
プロテスタントではA学院が、カトリックではS大学が明確にしている。(102)
4. 「建学の精神」に照らすべき3点(102-3)
 - 1) キリスト教の歴史の検証を経たもの…S大学の事例
 - 2) キリスト教の源流に遡っていること…A学院の事例
 - 3) キリスト教としての普遍性を有すること…カトリシズム、宗教改革の…
…例)カルヴァンの宗教改革に基づくプロテスタンティズム等
5. 「寄付行為細則」に、「本法人に関する中学、高等学校、大学においては、それぞれの校事として礼拝を行うとともにキリスト教教育を正課として課さねばならない」と記載することが必要。(104) (中略)
6. 同じ目的に向かう、キリスト者而非キリスト者の共働の大切さ。(120)

国の大学を検証され、5年前の本学の教職員修養会での講演で語っておられます。『宗教活動報告書』の第18号に全文が掲載されています。

第3に、学校の理事会が建学の精神を明確にする責任を負うと言われています。すなわち学校の運営を担う理事会がこの取り組みをすべきなのです。この具体的事例について、プロテスタントではA学院が実施しており、カトリックではS大学が先例となる、と。これは青山学院とソフィア、すなわち上智大学を指しています。この時期にすでに明確に「建学の精神」を制定した学校があったわけです。

「建学の精神」には次の3点を謳わなければならないと言われます。その1が、キリスト教の歴史の検証を経たものであり、これが上智大学で明確にされていると言われます。上智大学は、イグナティウス・デ・ロヨラのイエズス会から派遣されたフランシスコ・ザビエルらの日本布教から始まっていることを明確に語り、歴史的な検証を経て今日があることを当校の「建学の精神」の中で主張しております。その2に、キリスト教の源流に遡って学校の出発を確認している点であり、青山学院は、18世紀のジョン・ウェスレーのメソジズムの流れに立ち、この源流に遡って、今日学校があることを明確にしている学校です。その3に、歴史的キリスト教としての普遍性をもっていることが大切であり、例えば、カトリシズムに立脚しとか、宗教改革の福音主義とか、もっと明確に、いっそカルヴァンの宗教改革に基づくプロテスタントと言っているのではないか、と倉松先生は言われています。

ただ、ルターも加えますと、ルターとカルヴァンを合わせて、宗教改革の福音主義キリスト教という表現に集約されていくわけであります。

第5に、学校の「寄付行為細則」の中に、「本法人に属する中学、高等学校、大学においては、それぞれの校事として礼拝を行うとともにキリスト教教育を正課として課さねばならない」と記載することが必要であると言われます。この点は、後に本学院で定められる「東北学院教育の基本方針」の中で、「それぞれの教育機関は、正規の学校行事としての礼拝と正課必修としてのキリスト教教育を不変のこととして実施していくものとする」という文言に明文化されるわけです。

本書では、礼拝とはどのようなものであるか、キリスト教教員はどうあるべきかといった解説もなされていますが、本日、ご紹介しておきたい点は、第6の要点、すなわち「同じ目的に向かう、キリスト者と非キリスト者の共働の大切さ」が言われていることを指摘しておきます。

この「東北学院教育の基本方針」は、2006年に理事会で承認されまして、倉松先生が学長・院長として12年間在職されていた中で、「建学の精神」と「教育の基本方針」を10年かけて制定されたということが出来るのです。御自身の著書の中で、語ったことを実際に実現されたと私たちは確認するわけです。

実は、昨年(2020年)7月に91歳で逝去されまして、先月1年の記念会を開催して、そこでこのことを申し上げたいと願ったのですが、コロナ禍で実現できませんで

したので、本日、倉松先生が願っておられたことがこのように実現したことを申し上げた次第であります。なお、宗教部が作成しております『キリスト教Q&A』という冊子がありますが、教養学部におられた永井義之先生が、これをまとめて文章を書いてくださっております。現在は、『キリスト教活動のしおり』という冊子に変更して、永井先生の解説は掲載しておりませんが、『Q&A』をご覧ください。なお永井義之先生は、今年（2021年）1月にお亡くなりになられ、そういう点では、「建学の精神」や「教育の基本方針」の成立のいきさつを知っている人が少なくなり、今回は特にこの場で丁寧に紹介させていただきました。

さて、スライド12へ移ります。青山学院大学は、では実際にキリスト教の源泉に遡っているか、という点です。実際青山学院大学は渋谷キャンパスの入り口に、メソジズムの創始者のジョン・ウェスレーの像を設置しています。高いところにあるので、気付かずに通り過ぎてしまう人もいますが、2メートルの高さの台の上に設置されたウェスレーが下を通る人に、「ジョン・ウェスレー、世界のためにキリストの愛と平和を説く」と刻まれております。ここに見える形で青山学院のキリスト教の源泉を示しており、さらに奥に入っていくと、礼拝堂、すなわち「ガウチャー・メモリアル・ホール」が目に入ります。

スライド13を見ると、青山学院の「建学の精神」とスクール・モットーがホームページで公開されていますが、「青山学院の教

育は、永久にキリスト教の信仰にもとづいて、行われる」とあります。「永久に」と宣言していますが、私たち東北学院は「不変のこととして」と表現しています。さらにスクール・モットーは、「地の塩、世の光」と定められています。ウェスレーから始まるメソジズムにのっとって、キリスト教教育を行うことを宣言しています。

次に、スライド14を見ると、上智大学において、「建学の精神」に歴史的検証を定めているのか、実際に調べてみると、確か



**青山学院大学
ガウチャー・メモリアル・ホール**

**青山学院大学(渋谷キャンパス入り口)
のジョン・ウェスレー像**
John Wesley preaches Love and Peace
in Christ for the World

**青山学院の建学の精神と
スクール・モットー**

建学の精神 教育方針
スクール・モットー

青山学院の教育は、
永久にキリスト教の信仰にもとづいて、行われる。

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World
【聖書 マタイによる福音書 第5章 13～16節より】

上智大学

14

上智大学は、2013年に創立160周年を迎えました。その起源はさかのぼる。1549年に来日し、日本にキリスト教を伝えた聖フランシスコ・ザビエルの志に由来が伝承されます。イエズス会の時代経緯であるイグナチオ・デ・ロヨラによりアジア（日本）に派遣されたザビエラは、日本人の福音を熱く伝へ、日本でのキリスト教布教の先陣を歩きました。その熱意が実り、ザビエルの没後300年を期して1913年に、これが四國最初のカトリック大学として本学が創設されました。校名は、「聖母マリアの聖域」にある所々の神聖堂「上智の塔（SACRIS SAPIENTIAE）」から採り用いて命名したものです。上智大学は、キリスト教の福音を伝えるために聖人聖賢を第一に、「Men and Women for Others, with Others」を標榜するために、他者とともに「を教育精神に導き、「世界に及びなす大学」を自覚し、グローバル化対応力（グローバル・コンピテンシー）を備えた人材を育成しています。

上智大学の建学の理念

上智大学の建学の理念について

上智大学は1913年、創立100周年を機に、建学の理念を再考し、2013年の創立160周年を契機として「建学の精神をつくり（English: Bringing the World Together）」という理念を策定しました。

上智大学の建学の理念は、キリスト教の福音に由来することである。本学創立は160周年であるが、その起源はイエズス会宣教師フランシスコ・ザビエラに由来し、キリスト教の福音を伝えるために聖人聖賢の志に由来することである。創立160周年を契機として、2013年に建学の理念を再考した。

に、フランシスコ・ザビエルに遡り、ロヨラの創設したイエズス会から派遣された日本伝道に起源をもつことを語っています。さらに上智大学の「建学の理念」において、Sophia-Bringing the World Together（叡智が世界をつなぐ）と大学の理念を明確にしています。その解説の中でも、イエズス会のフランシスコ・サビエルから、と繰り返し、学校の出発点を明記にしているわけです。

以上の二つの例から見て分かりますように、東北学院の「建学の精神」に、「宗教改革の福音主義キリスト教の信仰に基づく」という文言を入れていることが、いかに大切なことかを改めて感じさせられます。単に「キリスト教の信仰に基づく」とせず、歴史的検証を経て、しかも源泉に遡ったキリスト教を明確にし、世界で認められている「歴史的キリスト教としての普遍性」をもって、本学の「建学の精神」が制定されているという点を見落としてはならないわけです。

スライド15に入ります。東北学院のスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」についてです。建学の精神がこのスクールモットーに集約されます（詳細は拙稿に付した質問2を御覧ください）。まず、このスクー

ルモットーに付された解説文をお読みしますと、「東北学院の『建学の精神』を象徴するスクールモットー、『LIFE LIGHT LOVE』とは、イエス・キリストの『命（いのち）』・『光（ひかり）』・『愛（あい）』を指します。キリストの命が私たちに与えられ、キリストの光が私たちを照らし、キリストの愛が私たちを包んでいます。それゆえ私たちもまた人々の命のために仕え、人々に光を与えるために働き、人々を自分のように愛するのです。これは聖書を根拠にした本院に係するすべての人々に対する教えであり、本院の創設時から大切にされてきた言葉です」とあります。こうして、私たちは、「建学の精神」を「LIFE LIGHT LOVE」というスクールモットーに集約して、明確な教育方針に立って教育を進めているわけです。

さて、スライドの16ですが、東北学院「TG Grand Vision 150」を象徴する標語として、「ゆたかに学び 地域へ世界へ よく生きる心が育つ東北学院」が定められました。時々ホームページなどで目にする言葉です。この言葉について解説します。この「ゆたか」とは、「一般教育と専門教育と共に、聖書の学びがある」という意味です。これが「ゆたか」のもつ意味として採用されました。ですから、スライドに解説を付しま

【4】

東北学院のスクールモットー
LIFE LIGHT LOVE

15

東北学院の「建学の精神」を象徴するスクールモットー、「LIFE LIGHT LOVE」とは、イエス・キリストの「命（いのち）」・「光（ひかり）」・「愛（あい）」を指します。キリストの命が私たちに与えられ、キリストの光が私たちを照らし、キリストの愛が私たちを包んでいます。それゆえ私たちもまた人々の命のために仕え、人々に光を与えるために働き、人々を自分のように愛するのです。これは聖書を根拠にした本院に係するすべての人々に対する教えであり、本院の創設時から大切にされてきた言葉です。

LIFE（いのち）とは、有限な生命体の命と、神が自らの似姿として創造された個人の尊厳を互いに大切にすることです。
 LIGHT（ひかり）とは、学問や科学の成果によって新しい時代を切り開くことです。
 LOVE（あい）とは、隣人愛をもって地域や世界に仕えることです。

2021年2月10日常務理事會にて承認

【5】

東北学院「TG Grand Vision 150」
ゆたかに学び 地域へ世界へ
よく生きる心が育つ東北学院

16

創立130周年の年に中長期計画「TG Grand Vision 150」を内外に公表し、このビジョンを定めたもの

1、「ゆたかに学び」とは、教養教育と高度な専門教育を修得し、これを「キリスト教による人格教育」が支えているという意味。

2、「よく生きる」とは、ギリシア哲学以来の徳目「よく生きること（bene vivere）」に由来し、古代から中世にかけて大切にされた用語。究極の幸福は、神を敬慕すること（『ニコマコス倫理学』下）というのは興味深い。

したように、『ゆたかに学び』とは、教養教育と高度な専門教育を修得し、これを『キリスト教による人格教育』が支えているという意味』であると表現できます。

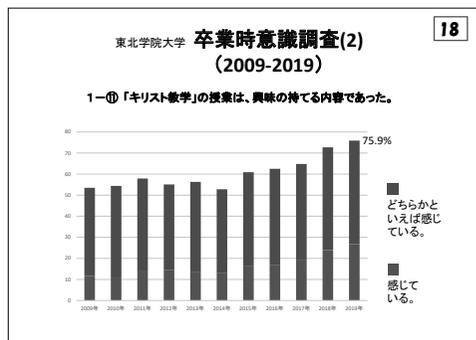
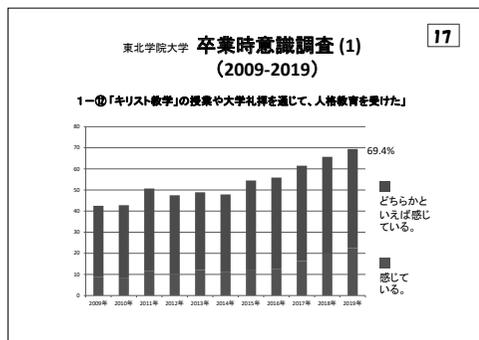
さらに「よく生きる」とは、単なる道徳の一項目ではなくて、そこに記したように、『よく生きる』とは、ギリシア哲学以来の徳目『よく生きること (bene vivere)』に由来し、古代から中世にかけて大切にされた用語」なのであります。アリストテレスは紀元前4世紀の人ですが、この時代にすでに、「よく生きること」が幸福に生きるための大切な徳目であることを語っています。しかも、キリスト以前の人ですが、究極の幸福は神を観想することであると言っているのですから、とても驚かされます。いずれにせよ、中世のキリスト教世界では、神の観想 (contemplatio Dei) は大切な教えとして語られていきます。

時間も短くなってきていますので、スライド17を御覧ください。それでは一体、「建学の精神」や「教育の基本方針」を本学が定めても、それがどのくらい学生たちの人格教育に役立っているのか、効果が上がっているのかについても検討しなくてはなりません。学生たちが、本学の教育方針を良いものとして受け止め、自身の成長に役立

ているかを知る必要があります。しかし現実には学生個人に関する事柄は、それぞれ多様ですし、調べることは容易ではないのですが、毎年行われている「卒業時意識調査」が少し参考になるかもしれません。これは大学の本部からの指摘なのですが、最近の学生たちのキリスト教に対する意識が向上しているというわけです。そこでグラフを作ってみました。

アンケート項目、1-⑫『キリスト教学』の授業や大学礼拝を通じて、人格教育を受けた』に関して、二千数百人の学生回答を得て、肯定的な意見を回答した割合を、2019年までの約10年間についてグラフにまとめました。これを見ると、2015年くらいから増加し出して、2019年には、7割近くに達しています。さらに増加することが期待されています。いずれにせよ、東北学院のキリスト教に基づく人格教育が学生たちにもポジティブに受け止められていることは幸いなことです。一つのエビデンスがここにあります。

スライド18もグラフです。1-⑫に続いて調べたのが、『キリスト教学』の授業は、興味の持てる内容であった』の割合についてです。ところで、私たち教師にとって、「キリスト教学の授業とは、興味のある内



容であるとか、興味のない内容であるという、そういう学問ではない」と主張したいところですが、しかし、このような問いに対しても、応えられる努力はしなくてはなりませんので、この要請に応じております。この統計を見ると、ポジティブな回答が、こちらから2015年から徐々に増え、2019年には75%に達しております。好ましい傾向と言えますが、ここ2年、コロナウイルス感染症で遠隔授業になったりしていますので、どのような数値になるかは未知数です。これからも努力して良い成果を上げていく必要があります。

【第2部】キリスト教活動について

〔1〕大学宗教部

スライドの19をご覧ください。本大学のキリスト教活動についての解説です。これについては、本学に長くおられた教職員の皆さんは、もうよくご存じかと思いますが、赴任されて日の浅い方々には、知っていただきたい領域です。

まず大学宗教部の主要な働きとしては、1にありますように、毎日の大学礼拝の実施です。「東北学院教育の基本方針」にもありましたように、本学院は、どの学校でも、学期期間中は、毎日学校礼拝を行っています。大学では予備日でも、授業の実施日と定まれば、礼拝を実施いたします。

3キャンパスと3寄宿舍で、年間620回を、学内のクリスチャン教員と外部の牧師の方々の協力を得て、実施しています。現在コロナ禍で、制限されてはいますが、工夫しながら大学礼拝を学生たちと共に実施しています。

2番目に、年間の宗教行事としては、春と秋に、2回実施する特別伝道礼拝があり、外部から特別講師をお招きして、通常の礼拝より長い話を聞きます。クリスマス礼拝も特別の礼拝となり、礼拝に続いて第2部では、聖歌隊によるヘンデルのメサイアの合唱が開催されます。さらに春と夏のサマー・カレッジを実施し、夏の教職員修養会、本日開催している行事ですが、このような活動を行っています。

3番目に、キャンパス・ミニストリーという、学生たちと一緒に聖書を学ぶ聖書研究会や読書会を各先生方のもとで行っています。さらにキリスト者等推薦学生で入学した学生たちの指導を行います。

4番目としては、宗教部聖歌隊の合唱指導があります。以前部員がいない時期もありましたが、声楽の専任の教師を招いて指導を受け、かなり学生の人数が増えましたが、コロナ禍なので、遠隔など工夫して活動しています。

その他としては、大学の諸行事などの司式、祈祷など、宗教部長を始め、宗教主任の協力を得て実施しています。なお、いくつもあった印刷物は、全学院的な方向をとる方針にして、後ほど紹介しますが、宗教センターへ移行しています。

19
第2部 キリスト教活動について
〔1〕大学宗教部
<p>1、主要活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 大学礼拝の実施(3キャンパス、3寄宿舍) 620回/年 2) 年間宗教行事 2回の特別伝道礼拝、クリスマス礼拝等 春・夏のカレッジ、教職員修養会等 3) キャンパス・ミニストリー(聖書研究会、読書会) キリスト者等推薦学生の指導 4) 宗教部聖歌隊の活動指導 5) その他、大学の諸行事などの司式、祈祷等 6) 印刷物関係 ⇒ 宗教センターへ移行

スライドの20は、4年前の宗教部聖歌隊の合唱の様子です。26、7名の参加による合唱ですが、近年、このような活動が他の学校においても見られなくなってきたということ言われた音楽家がおられます。とても貴重な活動であり、これからも盛んに継続していきたいと願っています。

〔2〕東北学院宗教センターについて

スライドの21番は、宗教センターについて解説です。昨年4月から活動を開始いたしました。宗教センターの役割は、1. 東北学院に属する各学校を包括し、連携を目指します。各学校には、それぞれ宗教部や宗教委員会がありますので、それはそれぞれで継続しつつ、宗教センターは、場所も様子も異なる各学校をつなぐはたらきをします。具体的には、毎年2回各学校をセンターのスタッフで訪問し、祈祷会を行い、その後、懇談会を持ちます。近況を伺い、また可能な範囲でセンターが協力できる業務を伺うように努めています。

2. 各学校では、キリスト教関連の行事をおこなっていますが、それに協力したり、その様子を後日、ニュースレターなどで報告したり、学院全体に周知し交流を深める活動をします。3. 大学では、いくつも出版物を作成してきましたが、各学校では印刷物を作成していませんので、今後、全学校を対象として、各学校へ配布できるように出版物を発行します。次のスライドにありますように、年2回発行の「いのち ひかり あい」や、「キリスト教活動のしおり」、「説教集」、その他にも「水曜通信」、「キリスト教活動報告書」などを出版します。

4. ランカスター神学校とは、本学の二

人の校祖の卒業校なので、交流をさらに深める目的で、2018年に国際交流協定を結びました。コロナ禍で現地との交流は控えています。今後盛んに行いたいと願っています。また、5. 私立大学研究ブランディング事業で行っていた幾つかの活動を宗教センターで引き継いでいます。

スライド22をご覧くださいと、今まで、1年半で、出版した出版物を紹介しています。これらの出版物は、各学校の校舎の入り口に設置し、保護者の皆さんに、また誰でも



21

第2部 キリスト教活動について
〔2〕 宗教センター

【主要な目的】

1. 各学校を包括し、連携を目指す。
2. 各学校の行事への関わり
3. 全学校へ配布する出版物
4. ランカスター神学校との交流
5. 研究ブランディング事業の引継ぎ
(コロナ後には活動を広げ交流の場も設定)

【キリスト教関係】

1. 各学校の連携 (宗教部/宗教委員会)
2. 全学校向けへの活動 (福音伝道)
3. 教会員生活の活動

【出版物制作の関わり】

1. 刊行物の発行 計画
2. 出版物の企画/発行
3. 印刷業務の委託
4. キリスト教活動のしおり
5. 水曜通信

【建学の精神に沿った事業】

1. 学際交流 国際交流 研究
2. シンポジウム 講演会 発表
3. 国際関係
4. 全学祭等の企画

LIFE
LIGHT LOVE



手に取れるように備えてもらっています。

本日は、「東北学院建学の精神」、「東北学院教育の基本方針」、そして本学の「キリスト教活動」についてお話し申し上げました。ご清聴ありがとうございました。

【質問】「東北学院建学の精神」とスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」の関係

「建学の精神」は「個人の尊厳の重視と人格の完成」となっているが、スクールモットーとはどのように関連するのでしょうか？

第一に申し上げたい点です。本学の「建学の精神」の「個人の尊厳の重視と人格の完成」という言葉の前に、「宗教改革の『福音主義キリスト教』の信仰に基づく」とあります。「福音主義キリスト教」と括弧で強調しているように「キリストの福音に立脚するキリスト教」であり、さらに、その前に「宗教改革の」とあるように、ルターやカルヴァンら宗教改革者たちが明らかにした「聖書の中に記されたキリストの福音に立脚するキリスト教」に基づいて、「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育を目指すこととなります。

さて、スクールモットーの「LIFE LIGHT LOVE」については、教職員修養会でも示したように公式の解説文があります。それは再掲すると次となります。「東北学院の『建学の精神』を象徴するスクールモットー、『LIFE LIGHT LOVE』とは、イエス・キリストの『命（いのち）』・『光（ひかり）』・『愛（あい）』を指します。キリストの命が私た

ちに与えられ、キリストの光が私たちを照らし、キリストの愛が私たちを包んでいます。それゆえ私たちもまた人々の命のために仕え、人々に光を与えるために働き、人々を自分のように愛するのです。これは聖書を根拠にした本院に関係するすべての人々に対する教えであり、本院の創設時から大切にされてきた言葉です。」

この解説文の中の「キリストの命が私たちに与えられ」とは、キリストが十字架上で死ぬことを通して人類に新しい命を提供してくれたことであり（ヨハネ3：16、ローマ5：2、6：4他）、「キリストの光が私たちを照らし」とは、キリストがすべての人を照らす光として世に来られた（ヨハネ1：9他）ということであり、「キリストの愛が私たちを包んで」とは、神はその独り子をお与えになるほどに、世を愛された（ヨハネ3：16他）という聖書の言葉から来ています。これらは「キリストの福音」に集約され、先の「建学の精神」について説明した「聖書の中に記されたキリストの福音に立脚するキリスト教」を、スクールモットーの解説文では、聖書の言葉を用いてより分かりやすく表現していると言えます。

続いて第二に申し上げる点です。「建学の精神」にある「個人の尊厳の重視と人格の完成」については、ここで対象となる「学生個人」はそもそも千差万別の個性を持っており、どのような「完成」に至るのかを具体的に語ることは出来ませんが、少なくとも、「建学の精神」の文章の後半において、「その教育は、聖書の示す神に対する畏敬の念とイエス・キリストにならう隣人への

愛の精神を培い、文化の発展と福祉に貢献する人材の育成を目指すものである」という文言が参考になります。ここは、「建学の精神」による「教育」に関してさらに踏み込んだ解説をしている部分と言えます。要約すれば「敬神愛人」の精神を養い、「社会に貢献する人材」の育成を目標にすることを告げています。

ところで、スクールモットーの解説文の後半、「それゆえ私たちもまた人々の命のために仕え〔マタイ10：8以下〕、人々に光を与えるために働き〔マタイ5：16〕、人々を自分のように愛する〔マタイ22：39〕のです」の文章は、スクールモットーの解説文の前半「キリストの命が私たちに与えられ、キリストの光が私たちを照らし、キリストの愛が私たちを包んでいます」という「聖書の中に記されたキリストの福音」を学ぶことを通して社会の人々に仕え、働き、愛するという「社会に貢献する人材」の育成を目標することを謳っています。この点で、「建学の精神」の後半の部分の要約「敬神愛人」を培って「社会に貢献する人材」を育成することとスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」の後半の解説が内容としては共通しています。

総じて、本学のスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」は、その公式の解説文において「建学の精神」を聖書に即してよりわかり易く語っており、スクールモットーが「東北学院の『建学の精神』を象徴」していることがわかります。大切な問いなので、再度、詳細に発表する機会があれば幸いです。※〔 〕は回答者の挿入です。

2021年度

東北学院中学校・高等学校 宗教活動報告

2021年度 東北学院中学校・高等学校 宗教活動報告

東北学院中学校・高等学校 宗教主任 松井 浩樹

コロナ禍にありながらも、対面授業と人数を制限しての礼拝堂での礼拝を継続しました。保護者の理解と中学生・高校生の生徒たちも感染対策に協力してくれたことは感謝であります。

学校内の活動に終始していましたが、外との関わりも再開できた1年でありました。「教職員修養会」には登米教会の佐々木栄悦先生を講師に招くことができました。先生は昨年まで福島の聖光学院の宗教主任を勤められており、コロナ禍の学校事情をよく理解しておられるとの判断が再開する勇気となりました。

また、保護者対象の「共に聖書を学ぶ会」も再開しました。参加人数が少ないことを予想してのことでありましたが30名を超える参加者を迎え、久しぶりの再会を喜びあった時となりました。困難な時だからこそ、聖書に耳を傾けるひと時が欲しいとの要望を受け、新年度は通常の年4回の開催を計画することとします。

今後も状況にあわせて丁寧な活動を心がけて、神様のご委託に応え続けていきたいと思えます。



2021年10月29日(金) 宗教改革記念礼拝
説教：南光台キリスト教会牧師 田中信矢先生



2021年11月26日(金) クリスマス・ツリー点灯式
説教：宗教主任 松井浩樹教諭



2021年12月24日(金) クリスマス礼拝
説教：高アンナ教諭

新型コロナウイルス感染症対策のため、事前に録画したものを各教室でみる形態とした



1. 宗教部

部 長 松井浩樹
副部長 鈴木雅光
教 諭 菊池 秀
教 諭 高アンナ

2. 礼 拝

【前期】

4月の学校再開時より8時30分から45分までの15分間、放送による礼拝をささげる。前奏は短く音楽科教員による奏楽、讃美歌と頌栄は曜日によって固定し、予め音楽科の教員、音楽部生徒が1節のみを歌った録音したものを聞く。聖書朗読、説教、祈祷後、頌栄を聞き、音楽科教員による後奏を聞いて終わる。テキストは、ヨハネによる福音書の連続講解。6月の中間試験後から、曜日ごとに各学年を礼拝堂に入場させての礼拝を実施する。ただ、夏休み後は新型コロナウイルスの感染拡大によって全学年で放送礼拝に戻した。

【後期】

8時30分から45分までの15分間、放送による礼拝（曜日によって1学年のみ入堂）をささげる。前奏は短く音楽科教員による奏楽、讃美歌と頌栄は曜日によって固定し、予め音楽科の教員・音楽部生徒が1節のみを歌った録音したものを聞きつつ歌う。聖書朗読、説教、祈祷後、頌栄を聞きつつ歌い、音楽科教員による後奏を聞いて終わる。テキストは、マルコによる福音書の連続講解。

【年間を通して】

学校礼拝の司会・説教者は基本的に月曜日、松井浩樹宗教主任、火曜日・岩上敦郎副校長、週末は高アンナ教諭、その他はキリスト者教員、聖書科非常勤講師としても勤務されている田中信矢先生（南光台キリスト教会牧師）、瀬谷寛先生（仙台東一番丁教会牧師）に月二度のペースで依頼した。その他外部より依頼していた教会牧師、宣教師による英語礼拝は休止している。

3. 授 業

各学年週一時間、必修科目として実施。キリスト教の基礎知識、価値観、歴史を学び、人格形成にも配慮しつつ、展開することをねらいにしている。担当教員は以下の通りである。

学 年	担 当 者	主 な 内 容
中学1年	高アンナ	キリスト教入門
中学2年	瀬谷 寛	新約聖書入門
中学3年	松井浩樹	旧約聖書入門

学 年	担 当 者	主 な 内 容
高校1年	松井浩樹・田中信矢	旧約聖書Ⅱ・3要文
高校2年	高アンナ	キリスト教の歴史Ⅰ
高校3年	松井浩樹	キリスト教の歴史Ⅱ

4. 早天祈祷会

毎週火曜日、朝7時50分から8時00分まで松井浩樹宗教主任、高アンナ教諭のもと実施。朝の礼拝で歌う讃美歌を歌い、司会者が詩編を交読、短く奨励、参加者で祈祷・主の祈りをささげる。主に宗教部の教員が参加。平均出席4名。

5. キリスト教青年会

夏の修養会 8月2日(月)～3日(火) ニュー泊崎荘(南三陸町歌津)
新型コロナウイルス感染拡大により中止。
春の修養会 3月29日(火)
日帰り震災遺構(仙台市立荒浜小学校)を見学

6. 共に聖書を学ぶ会

年3回、保護者(卒業生も含む)有志と宗教部教員による聖書の学びである。
新型コロナウイルスの収束が見えない中で、前期は中止とした。
12月6日(月) 司会 高アンナ教諭
奨励 松井浩樹宗教主任 保護者28名 参加
祝会 短縮の形態で実施

7. 行 事

入 学 式 4月8日(木) 短縮、人数制限による
寄 宿 舎 入 舎 式 4月8日(木) 短縮、人数制限による
1 学 期 始 業 式 4月9日(金) 放送による
イースター礼拝 4月26日(月) 説教 田中信矢先生
(南光台キリスト教会牧師・本校講師)
宗 教 主 任 講 話 5月10日(月) 新任教師研修会 松井浩樹宗教主任
創 立 記 念 礼 拝 5月15日(土) 松井浩樹宗教主任
墓 前 礼 拝 5月15日(土) 中止
ペンテコステ礼拝 5月31日(月) 説教 田中信矢先生
(南光台キリスト教会牧師・本校講師)

1 学期 終 業 式	9月28日 (火)	放送による
2 学期 始 業 式	10月1日 (金)	放送による
宗教改革記念礼拝	10月29日 (金)	説教 田中信矢先生 (南光台キリスト教会牧師・本校講師)
ツリー点灯式	11月26日 (金)	16:30 礼拝堂にて 説教 松井浩樹宗教主任
クリスマス月間	11月29日 (月) ~12月24日 (金)	岩上副校長 松井宗教主任 高アンナ教諭 名越教諭 橋本教諭 高田教諭 西間木榴ヶ岡高校宗教主任 田中先生 (南光台キリスト教会牧師・本校講師) 瀬谷寛先生 (仙台東一番丁教会牧師・本校講師)
クリスマス礼拝	12月24日 (金)	説教 高アンナ教諭 事前に録画したものを各教室でみる形態とした。
クリスマス献金	220,041円	(仙台キリスト教育児院110,021円、小百合園に110,020円を送金)
高校3年卒業説教	1月18日 (火)	説教 大西晴樹先生 (院長・学長)
寄宿舎卒業礼拝	2月28日 (月)	松井浩樹宗教主任
祝会		短縮で実施
高等学校卒業式	3月1日 (火)	
東日本大震災追悼礼拝	3月11日 (金)	松井浩樹宗教主任
2 学期 終 業 式	3月18日 (金)	
中学校卒業式	3月19日 (土)	

8. 第39回教職員修養会

日 時	8月19日 (木) 9:00~12:10
会 場	本校 大会議室
講 師	佐々木栄悦先生 (日本基督教団 登米教会牧師)
参 加 者	15名

キリスト教青年会について

東北学院中学校・高等学校 宗教主任 松井 浩樹

中高のキリスト教青年会（以下、青年会と記す）の活動をまとめてみたい。百年誌をみるとその設立は1897年（明治30年）、世界キリスト者学生運動指導者 J.R. モットが仙台で講演会を開催した直後とある。その設立後、聖書研究会、講演会、早天祈祷会、親睦会など精力的に活動を行ったことが記される。つまり、今年で青年会創立125年の記念すべき年なのである。

私が着任した頃（15年ほど前）、泊を伴う聖書研究会と少しのボランティア活動、親睦会が混合した形態でバス2台をチャーターして出かけていたように思い起こす。ある程度の時間は決められていたものの、そんなに厳しい日程でもなく、楽しいほんわかした会であったように思う。やがて本格的に私が企画する頃、ある程度きちんとした地域に根ざしたボランティア活動を実践したいと考えていたところ蔵王町とつながりができ、高齢者施設の清掃などを継続して行ってきた。この活動が軌道に乗りつつあった頃、東日本大震災が発生したのである。当然、すぐにでも青年会としての活動を目指したが現実には私たち一人ひとりも何かしらの被災者であり、ボランティア活動を呼びかける気持ちすら湧き上がらなかったのである。授業開始も1ヶ月ずれ込み、毎週土曜日も授業日となり教職員はもちろん、生徒の心身ともに疲弊していたのであった。そこで震災直後の夏休みは、ボランティアというよりは、鳴子温泉を宿として心身の回復に重点を置き、夜に聖書研究を持ってくる以外は比較的緩やかな時間設定にした。二日目は鬼首へ出かけ、そのホテルに併設させていたプールで自由に泳いだ。震災の影響で海水浴や街のプールで泳ぐことなど口にもできない状況の中、思いがけず普通にプールの営業しており、しかも中学生は小学生料金にさせていただいたように記憶している。僅かな時であったが少し、被災をした現実から日常を回復したのであった。

その春から青年会活動を再開しようとしたが被災規模が膨大過ぎて、何をどのようにしてよいのか皆目見当がつかなかった。ただ大体的に報道がなされている南三陸は、生徒を連れて素人集団が何かをやることに逆に迷惑をかける事になりかねないと躊躇される思いはずっと感じていた。すると、本校でも聖書科の講師の経験もある長命ヶ丘キリスト教会牧師の金丸真先生が県南で活動を継続しているとのことで、その活動に加えていただくことになった。特に亘理町の宮前仮設住宅に、それがなくなるまで7年間継続して支援活動をすることができた。支援活動といえども、5年を過ぎた頃から私たちの側がもてなされるような経験をしたものである。

亘理町の仮設住宅がなくなってから、いよいよ南三陸町に活動の場を移すこととした。南三陸応援団に登録をし地元の方々と一緒に行った日の午後と帰る日の午前中、主に農作業を手伝った。春はまだ、比較的作業が楽なのだが夏の収穫や畑作業は過酷なものであったが、

地元の方々との何気ないおしゃべりで何とか乗り切っていたのである。

現在、コロナ禍によって開店休業中である。活動を楽しみにしていた生徒も、この状況で諦めざるをえない状況が続いていた。すると時は流れ震災を知らない、記憶にない生徒たちが大多数となってきたことに驚くのである。そこで活動は制限されるも、身近な震災遺構を見学することで少しでも防災、減災の意識を高めようとしている。自分が生まれ育った街を知らないのは、あまりにも寂しくもあるし125年継続する青年会として地域に密着した具体的活動の実践をこれからも臨機応変に目指していくのである。

2021年度

東北学院榴ヶ岡高等学校 宗教活動報告

2021年度 東北学院榴ヶ岡高等学校 宗教活動報告

東北学院榴ヶ岡高等学校 宗教主任 西間木 順

新型コロナウイルス感染症の不安の中ではありますが、日々の礼拝を捧げられたことは感謝です。礼拝は、礼拝堂と各教室に分かれて捧げました。礼拝堂には一週間毎3～4クラスずつ入りました。他のクラスは、礼拝堂からの配信を見ながらの礼拝でした。讃美歌は全節歌いました。

3年振りに教職員対象のキリスト教教育研修会を実施し、講師の東北学院大学原田浩司先生から『東北学院とキリスト教育～3L精神の<LIFE>（いのち）を生かす「死生学」の取り組みから～』と題するご講演をしていただきました。

聖書科の授業は、専任1名、非常勤講師3名で行いました。非常勤の先生には授業の他に、週一回の礼拝説教も担当していただきました。三年間非常勤講師をしていただいた西川鉄也牧師が3月をもってご退任されました。



2021年4月30日（金） イースター礼拝
説教：東一番丁教会牧師 瀬谷 寛先生



イースター礼拝
新型コロナウイルス感染症対策のため、
礼拝堂より配信



2021年11月26日（金）
クリスマスイルミネーション点灯式
吹奏楽部による賛美



2021年12月23日（木）クリスマス礼拝
説教：石巻山城町教会 関川 祐一郎牧師

1. 宗教部 構成メンバー (敬称略)

部 長 西間木順宗教主任

1 学年 湯本良次、庄司清彦 2 学年 伊藤祥哉、最上巖 3 学年 南部悦子

2. 年間聖句 主題「共同体としての学校」

「キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。」

(コロサイの信徒へ手紙 3 章 16 節)

① 礼拝する共同体 ② 共に学ぶ共同体

目標 キリスト教主義に基づき人格を陶冶する。

① 隣人への愛の実践と感謝の心を育くむ ② 聴く・祈る・歌う学校へ

3. 礼 拝 8 時 40 分～8 時 55 分 (15 分)

【前期】新型コロナウイルス感染症のため、礼拝堂よりリモート

【後期】礼拝堂：3～4 クラス (1 週間のローテーション) / その他のクラスは礼拝堂から配信

参 加 者：全生徒、全教職員

テキスト：ルカによる福音書の連続講解

司 会：(学内) 西間木順宗教主任、後藤昌男教諭、最上巖教諭

(牧師) 西川鉄也牧師 (日本基督教団仙台松陵教会)

中本純牧師 (日本基督教団仙台東六番丁教会)

加藤秀久伝道師 (日本基督教団仙台南伝道所)

奏 楽：最上巖教諭

4. 早天祈祷会 毎週水曜日 8 時～8 時 15 分

宗教主任の司会で、讃美歌を歌い、「詩編」を輪読し、生徒参加者 1 名で祈祷を捧げる。

5. 授 業

各学年週 1 時間、必修科目として実施

学年・コース	使用テキスト／内容	担 当 者
1 学年全コース (8 クラス)	『東北学院について』 『キリスト教とは何か』	西間木順宗教主任
2 学年全コース (9 クラス)	『旧約聖書を読もう』	西間木順宗教主任 (1 クラス) 西川鉄也牧師 (3 クラス) 加藤秀久伝道師 (6 クラス)

学年・コース	使用テキスト／内容	担 当 者
3 学年 特別進学（1 クラス） 総合進学（5 クラス）	キリスト教倫理	中本純牧師（4 クラス） 加藤秀久伝道師（2 クラス）
3 学年 T G 選抜（2 クラス） 総合進学 T G 聖書（3 クラス）	『旧約聖書を読もう』 『新約聖書を読もう』	西間木順宗教主任（5 クラス）

※教会レポートの代替：非常勤講師による説教の動画を視聴しレポート提出

6. 特別礼拝・行事

始 業 式	4月8日（木）
第63回入学式	4月9日（金）
イースター礼拝	4月30日（金） 説教者 瀬谷寛牧師（日本基督教団仙台東一番丁教会）
創立記念週間	5月10日（月）～14日（金）
創立記念式典	5月15日（土） 説教者 長尾厚志牧師（日本基督教団仙台ホサナ教会）
創立記念墓前祈祷会	5月15日（土）教頭、宗教主任、生徒会長が参加
ペンテコステ礼拝	6月28日（月） 説教者 林完赫牧師（日本基督教団仙台長町教会）
伝 道 週 間	7月12日（月）～16日（金） 説教者 佐々木栄悦牧師（日本基督教団登米教会） 阿部祐治牧師（日本基督教団泉高森教会） 松井浩樹先生（東北学院中学校高等学校宗教主任） 野村信先生（東北学院大学宗教部長） 大西晴樹先生（東北学院院長）
閉 講 礼 拝	7月21日（水）
キリスト教教育研修会	8月23日（月）13時30分～15時30分 講 師 原田浩司先生（東北学院大学） 講演題 東北学院とキリスト教教育 ～「3 L 精神」の＜LIFE（いのち）＞を活かす「死生学」の取り組みから～
開 講 礼 拝	8月25日（水）
前期終業式	9月30日（木）
後期始業式	10月4日（月）

ギデオン協会聖書贈呈	10月7日(木) 説教者 山崎孝文氏(ギデオン協会)
宗教改革記念日礼拝	10月30日(土) 説教者 鐸木道剛先生(理事長特別補佐)
クリスマス週間	12月20日(月)～22日(水) 説教者 長手陽介伝道師(日本基督教団泉高森教会) 松井浩樹先生(東北学院中学校・高等学校宗教主任) 野村信先生(東北学院大学宗教部長)
クリスマス礼拝	12月23日(木) 説教者 関川祐一郎牧師(日本基督教団石巻山城町教会) 説教題 『神が共におられる』 聖書 マタイによる福音書1章18-25節
卒業礼拝	1月21日(金) 4校時目 対象 3学年 説教者 嶋田順好先生(宮城学院学院長) 説教題 『与えられた神の賜物を存分に生かして歩もう』 聖書 マタイによる福音書25章14-30節
第61回卒業式	3月1日(火)
3.11東日本大震災を覚えて	3月11日(金) 特別プログラム
終業式	3月24日(木)

7. 東京神学大学学校伝道協議会

創立記念日のために不参加

8. キリスト教学校教育同盟東北・北海道地区 新任教師研修会

9月6日(月) 参加者 水戸優太郎教諭

9. 宗教センター祈祷会

7月20日(火)、11月19日(金)

10. キリスト教学校教育同盟東北・北海道地区 教育研究集会 中高部会

10月15日(金) 参加者 佐藤周副校長、西間木順宗教主任

11. ボランティア

生徒会 ノーモア注射～希望の本プロジェクト／エコキャップ回収

生徒有志 ありのまま舎帯封糊付け作業

1学年 クリスマスカード制作

年間聖句「キリストの言葉があなたがたの内に宿るようにしなさい。」

(コロサイの信徒へ手紙 3章16節)

東北学院榴ヶ岡高等学校 宗教主任 西間木 順

東北学院の建学の精神には、皆さんにどのような人材になっていただきたいのか、ということが書かれてあります。「聖書の示す神に対する畏敬の念と、イエス・キリストに倣う隣人への愛の精神を培い、文化の発展と福祉に貢献する人材」です。

東北学院は、何よりもこの礼拝の時間を大切にしています。礼拝は神との出会いの場と時です。今、この場に、私たちの目には見えませんが、イエス・キリストがいてくださっています。そのイエス・キリストを通して、神と出会い、神の言葉を聞くのです。神は、私たちに、「あなたはわたしにとってかけがえのない存在です」と語ってくださっています。神が私たち一人ひとりをそのまま受け入れ、愛してくださっているのです。神に愛された者として、私たちは、「どのような生き方をするのがいいのか。どのような行動をすればいいのか。」と自分の心と対話しつつ考えていきたいのです。

コロサイの信徒へ手紙 3章12節には、「どのような生き方をするのがいいのか」ということが書かれてあります。

「憐れみの心、慈愛、謙虚、柔和、寛容を身につけなさい。互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。…これらすべてに加えて、愛を身につけなさい。愛は、すべてを完成させる絆です。また、キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずからせるために、あなたがたは招かれ一つとされたのです。いつも感謝していなさい。…」

「なるほど、こういう生き方をすることが、薦められているのか」と理解できますが、実践できるかという点、なかなかできません。このような行動をすれば、「みんながこの学校に来てよかったと思える学校にすることができる」とわかっているにもかかわらず、なかなかできません。今までの生き方、行動を変えようと思っても、なかなかできません。

実際、行動するためには、勇気や決断が必要です。その勇気を持ち、決断するためには、自分の心と対話していかなければなりません。繰り返し、繰り返し、聖書を読み、考えていかなければなりません。

神の愛は、私たちを変える力を持っています。神の愛は、私たちに行動を起こす勇気を与えてくれます。その神から愛されていることに気づいたときに、神の愛を正しく受け取ったときに、私たちは、イエス・キリストに倣う隣人への愛を実践していくことができるのです。そのために、私たちは、イエス・キリストを通して語られる神の言葉を謙虚に聞く者でありたいのです。

今年度の聖句を、16節の「キリストの言葉があなたがたの内に宿るようにしなさい。」と

いたしました。「キリストの言葉を自分の心の中に刻みなさい」と言うことです。そのキリストの言葉が心の中で響くようになるまで、繰り返し、繰り返し、キリストの言葉を読んでもらいたいです。その心に刻まれたキリストの言葉が、自分の心の中で響いてきたときに、神に愛されている者として、イエス・キリストに倣う隣人への愛を身に着け、実践していく勇気が与えられるのです。

(4月12日の礼拝説教より)

2021年度

東北学院幼稚園 宗教活動報告

2021年度 東北学院幼稚園 宗教活動報告

東北学院幼稚園 園長 島内 久美子

2021年度入園式は、感染防止対策によりクラス毎2部に分け行いましたが、卒園式は卒園児全員で行うことができました。卒園式前日に福島県沖地震が発生するというアクシデントに見舞われましたが、無事卒園式を挙行することができました。

礼拝においては感染が落ち着いた時期、久しぶりに全園児で守った合同礼拝の後、「みんなとお祈りできるって嬉しいね」との園児の言葉から、新入児が礼拝を感じ、祈りを覚えていく過程において進級児との縦のつながりが大切であると改めて感じ、感染状況を見ながら全園児での合同礼拝を増やしていきました。

2022年度に向けて新たな年間礼拝計画を作成し、牧師や信徒による定期的な礼拝説教を計画し、更なる充実を図っていききたいと思います。



2021年4月9日（金）入園式



2021年4月16日（金）イースター礼拝



2021年6月4日（金）花の日礼拝



2021年11月19日（金）感謝祭礼拝



2021年12月4日（土）クリスマスコンサート



2021年12月16日（木）クリスマス礼拝

1. 年間主題

共に喜んで

2. 年主題聖句

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

(コリントの信徒への手紙Ⅰ 12章26節)

3. 礼拝

クラス礼拝	月曜日～木曜日	10時15分～10時30分
合同礼拝	金曜日	10時20分～10時50分

4. 特別礼拝

4月8日(木) 始業日
4月9日(金) 入園式 祈祷：宗教部長 野村信先生
4月16日(金) イースター 説教：理事長特別補佐 鐸木道剛先生
6月4日(金) 花の日礼拝
7月20日(火) 1学期終了礼拝
7月20日(火) サマーデイキャンプ
11月19日(金) 感謝祭礼拝 説教：院長 大西晴樹先生
11月26日(金) 第一アドベント
12月3日(金) 第二アドベント
12月16日(木) クリスマス 祈祷：第一部・第二部 大学宗教主任 藤野雄大先生
第三部 宗教部長 野村信先生
3月11日(金) 震災追悼礼拝
3月17日(木) 卒園式 祈祷：大学宗教主任 田島卓先生
3月18日(金) 修了日

5. 園児対象活動

- (1) 毎月の聖句暗唱
- (2) 聖書物語絵本・紙芝居
- (3) 聖句入り絵カード帳

6. 保護者対象

- (1) 月刊新聞「ともに育つ」配付(キリスト教保育連盟発行)

(2) クリスマス準備会

日 時：11月30日（火）10時～10時30分

場 所：多賀城キャンパス礼拝堂

内 容：クリスマス講話 大学宗教主任 吉田新先生

(3) クリスマスコンサート

日 時：12月4日（土）10時～11時

場 所：多賀城キャンパス礼拝堂

内 容：ピアノとマリimbaによるクリスマス賛美 演奏：マリンピア

7. 教師対象

(1) 朝拝：8時25分～8時30分

(2) キリスト教講話

日 時：1月7日（金）13時～14時

場 所：幼稚園会議室

講 師：大学宗教主任 吉田新先生

(3) 月刊誌『キリスト教保育』輪読

(4) 第1回宗教センター祈祷会

日 時：6月22日（火）16時～17時

場 所：幼稚園

参加者：宗教センター3名、教師8名

第2回祈祷会

日 時：1月28日（金）15時30分～16時30分

*市域での感染拡大により中止

(5) キリスト教保育連盟月刊誌への実践報告執筆

8. キリスト教保育連盟研修会

〈総会・第1回研修会〉

日 時：6月22日（火）14時～（オンライン開催）参加教員：4名

〈第2回研修会〉

日 時：8月2日（月）14時～（オンライン開催）参加教員：6名

〈第3回研修会〉

日 時：11月29日（月）13時30分～（オンライン開催）参加教員：1名

〈オンデマンド〉

日 時：8月19日（木）子どもと共に造る保育 4名 保育連盟

1 年間礼拝計画の再考

① 経緯

幼稚園の合同礼拝において、説教は教員が当番制で行なっている。教員の殆どが信徒ではなく、さらには園に勤めて初めてキリスト教に触れる教師も多い。説教担当教員の手立ては幼児向けの聖話集を参考にするほかなく、園児に対して十分とは言えない状況であった。TGGV150の制定や園の運営方針変更に伴い、キリスト教教育を行なう園として宗教活動の向上を目的とし、牧師及び信徒による説教を計画した。

② 選出

2021年度宗教センター主任に協力を仰ぎ、主に宗教センターと連携していくこととなった。説教可能者を選出し、既にある年間礼拝計画に説教者や新たな計画を加え、方向性など助言を受け、新たな年間礼拝の作成に至った。

③ 内容

年主題、年間聖句は今までどおり、加盟しているキリスト教保育連盟に準じ、説教は宗教センターチャプレン若しくは所員等が月1～2回行う。

2 2021年度宗教活動の内容

年主題聖句の下、月聖句を決め毎日のクラス礼拝や週1回の合同礼拝の中で園児が暗唱し、少しずつ覚えていく。言葉や意味を取り違えて覚えていたりもするが、聖書のみ言葉を声に出すことにより、聖書理解へ繋がるとの思いから現在まで続けている。

2021年度聖句一覧

年主題	共に喜んで～すべての歩みの中～ *キリスト教保育連盟制定
年主題聖句	一つの部分が苦しめば、すべての部分が苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。 (コリントの信徒への手紙一 12章26節)
4月聖句	神は愛です。 (ヨハネの手紙 4章16節)
5月聖句	初めに、神は天地を創造された。 (創世記 1章1節)
6月聖句	神に育てられ成長していくのです。 (コロサイの信徒への手紙 2章19節)
7月聖句	愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。 (コリントの信徒への手紙二 13章11節)
8月聖句	愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。 (コリントの信徒への手紙二 13章11節)
9月聖句	主の業に常に励みなさい。 (コリントの信徒への手紙一 15章58節)
10月聖句	わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。 (ヨハネによる福音書 15章5節)
11月聖句	わたしの恵はあなたに十分である。 (コリントの信徒への手紙二 12章9節)
12月聖句	神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛された。 (ヨハネによる福音書 3章16節)
1月聖句	『隣人を自分のように愛しなさい。』 (マタイによる福音書 22章39節)
2月聖句	いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。 (テサロニケの信徒への手紙一 5章16節)
3月聖句	光の子として歩みなさい。 (エフェソの信徒への手紙 5章8節)

東北学院 「宗教活動報告書」

第3号（2021年度）

発行日 2022年11月11日

発行責任者 宗教センター所長 大西 晴樹

編集責任者 宗教センター主任 原田 浩司

出版社 株式会社佐々木印刷所

問い合わせ先 東北学院宗教センター

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1

電話 022-264-6558

